

催眠 逆NTR

恋

に墮ちる

85P



A校玄関前
午前8時

ねえ、あそこ……
けんかかな？

ん？
あそこの二人？

知らない？
風紀委員の峰山さんと
学年首席の七星さん

いつも七星さんが
服とか髪で違反して、
峰山さんが怒ってる

へえ……
今時いるんだね、
昔ながらの委員長
って感じの人

校則違反常習犯
七星 香織

風紀委員長
峰山 咲希

ただでさえ
先生たち
うるさいのに、
勘弁して
欲しいわあー

けど、
ルールを守れば
問題
ないんじゃない……

あ、
ちよいちよ

そこはまあ、
七星さんが
校則破って
ばっかなのも
どうかと思うけど

でも成績いいから
先生も強く
言えないとか……



一週間後

ねえ

ちよつと今から
顔貸してよ

え？
俺？

そう、キミ

キミの幼馴染み
のことで、
話があるの

咲希のことなら
咲希に言えば
いいんじゃない……

んなことしたら
不毛な言い合いに
なるのが
目に見えてるでしょ

だからキミに
仲介して
もらいたいの

た、確かに……

付いてきて

長くなるだろうし
座って話そ

東棟端
空き教室

付き合ってもらおう
お礼にこれ、
飲みなよ

いや悪いよ。
これ位のこと

いいから
遠慮とか
しないでさ



あ

それとも、
私の飲みかけの方が
よかった感じ？



はいはい
どうぞ

で、本題の方
なんだけど...

ま、まあ、
ありがたく
もらっとくよ

...



七星さんの話とは要するに
「人前で争うのはやめよう」
というものだった

どうやらかなり
目立っているらしく、
あまりよくない
噂が立っているらしい
(実際僕も把握している)

正直……

七星さんも
校則を(特に服装を)
もう少し守ってくれ
とは思いますが、

……まあ、それは
それとして

咲希が委員会の
活動以上に
口出ししてるのも
悪評の原因なのは
事実だしな……

ただ、意外だったのは
七星さんに歩み寄りの
意思があることだ

これなら
咲希との仲も
もう少し平和的に
改善できる
かもしれない……

まあ峰山さんも
大変だとは
思うけどさあ
頭髪検査とかは
ちゃんと受けてる
んだし、ね？

ああ、
けど……

そういえば
気になってたん
だけど……

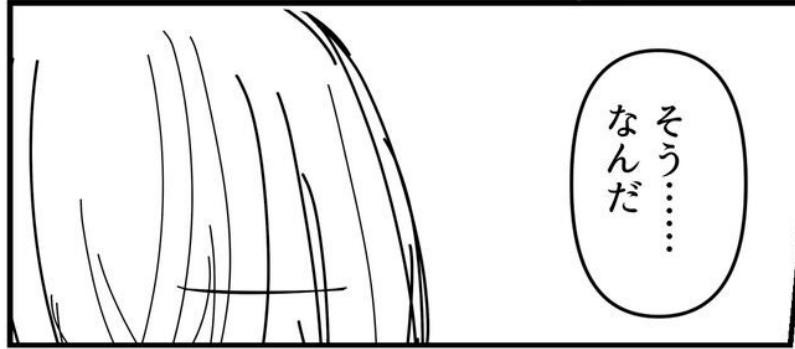


いや、違うよ
ないない

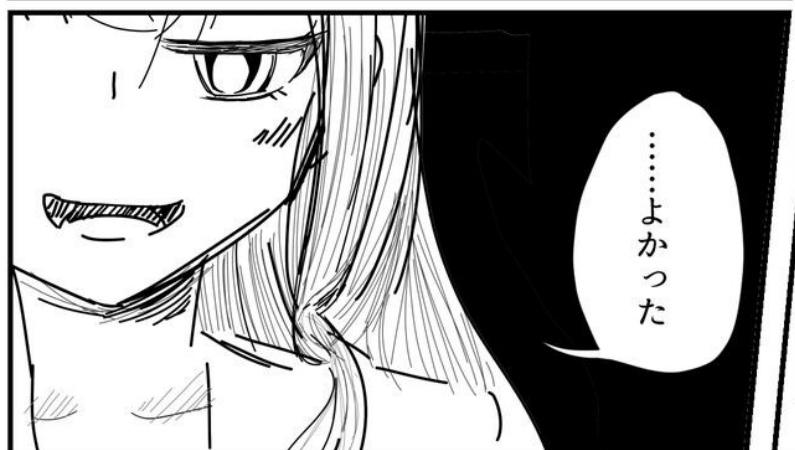
ポカッ



守屋君と
峰山さんって、
付き合ってるの？



そう……
なんだ



……よかった



俺とあいつは
ただの幼馴染みだよ。
面倒事に、よく
巻き込まれてるだけで

あいつはきつと、
僕を男としては
見てないだろう
しな……



ん？

なんだ……？
急に、眠気が……



告白されるとか
勘違いした？

あ、いや、
そこまでは
思っただけ……ど

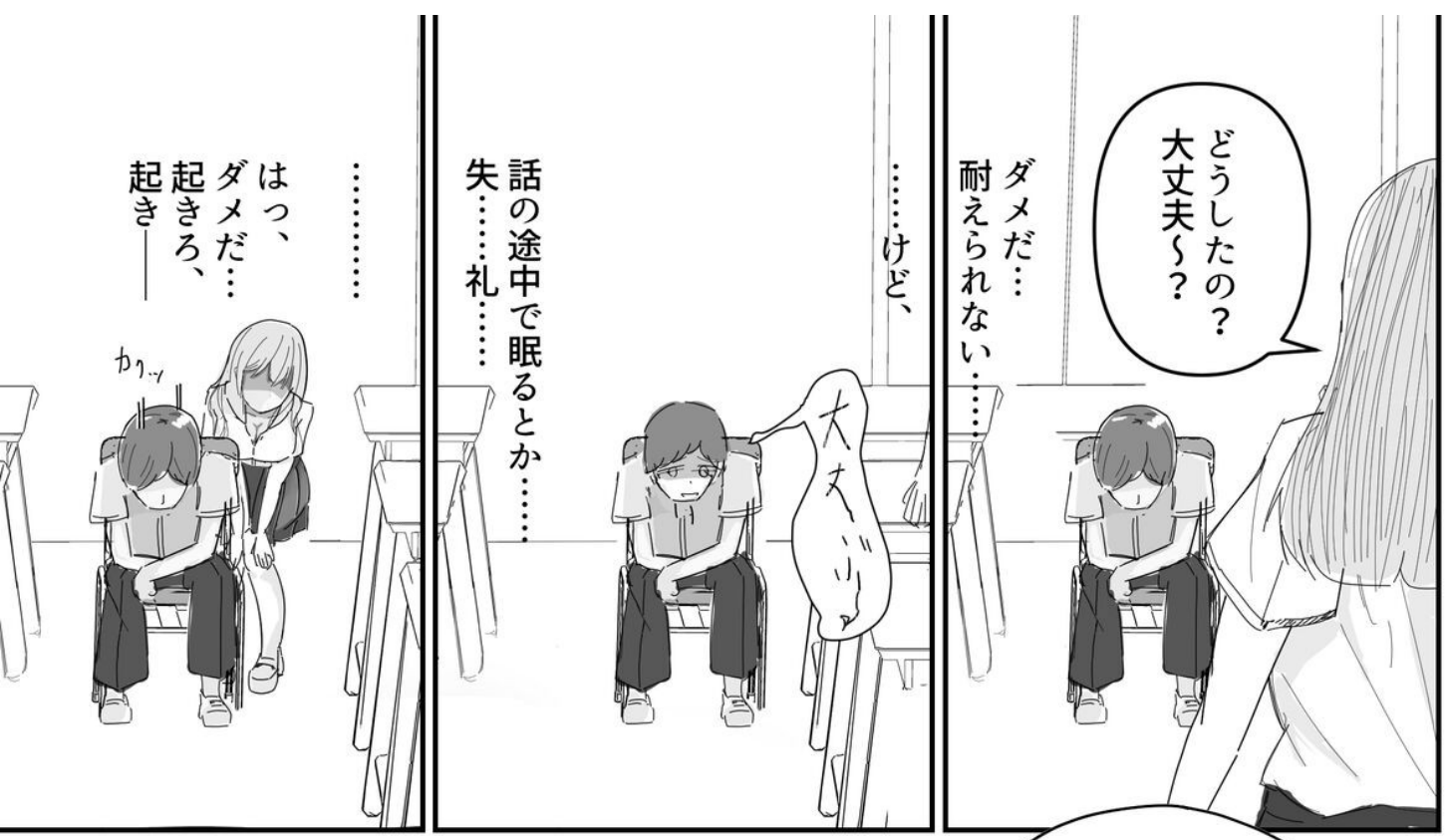
あはっ♡
彼女いる男子と

二人っきりで
話してるんじゃないかと
よかったってだけだよ



え？

それって
どういう……



どうしたの？
大丈夫？

ダメだ…
耐えられない…

…けど、

話の途中で眠るとか…
失…礼…

…

はっ、
ダメだ…
起きる、
起き—

か、



いいんじゃないかな
もつとリラックスしても
肩の力を抜いてごらん
きつと気持ちやすーっと
楽になるよ

ほら、
深呼吸
してごらん

吸って…
吐いて…

吸って…
吐いて…

吸って…
吐いて…

不思議だ…
七星さんの
声には妙な
安心感がある…

深呼吸を続けると
体だけじゃなくて
心もリラックス
してくる……

息を吸うたび
心が穏やかな
気持ちで満たされて、
息を吐くたび
緊張や責任感が
すーっと抜けて、

腕から、足から、
そして心から。
どんどん
力が抜けていく
まどろみの世界
落ちていく

あたま空っぽにして
のんびりするの
気持ちいいね

まるで眠ってるみたい。
だけど無意識に
私の声は認識してる
その不思議な感覚を
しっかり脳に
覚えさせて

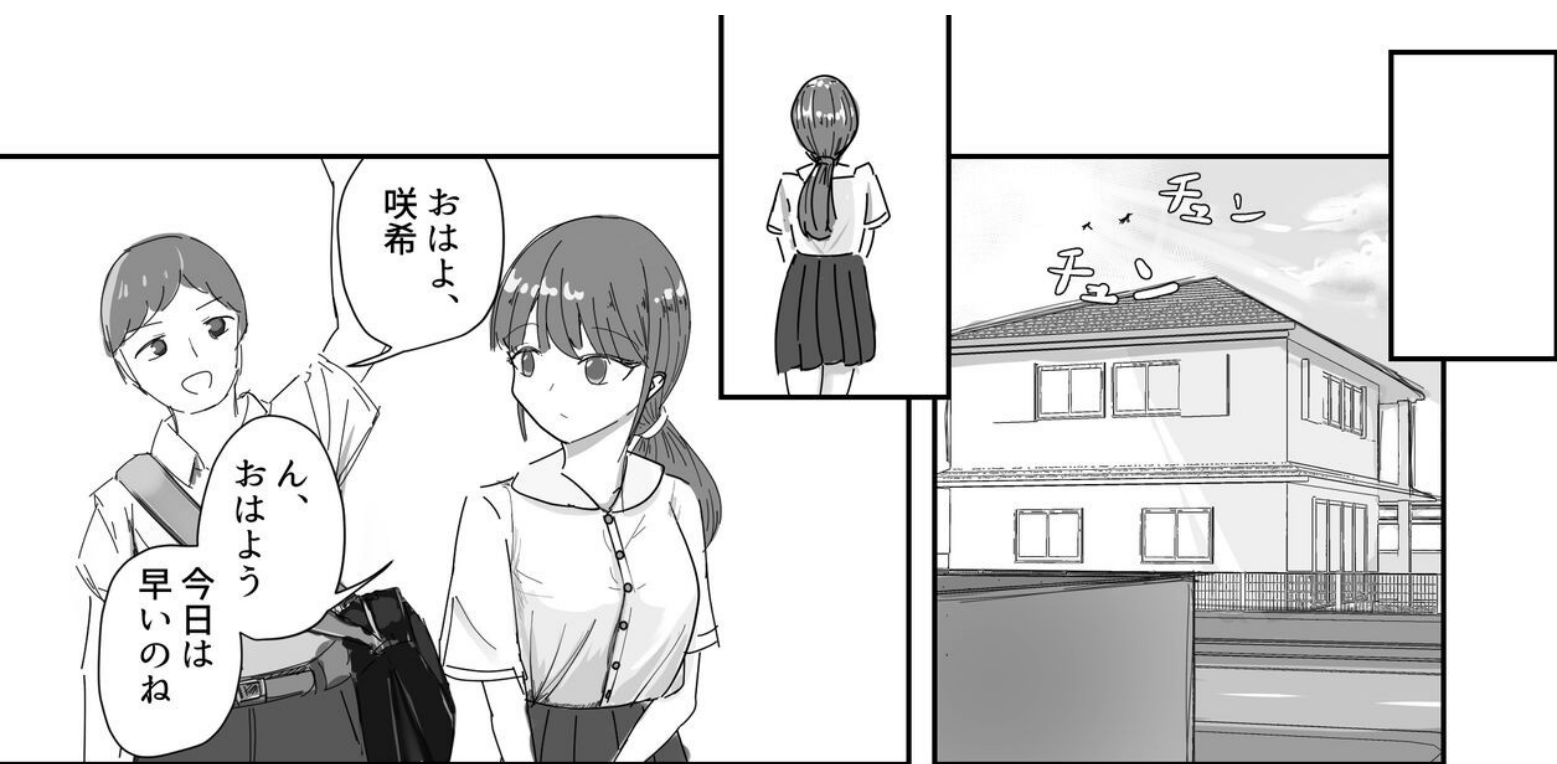
ほら、
気持ちいいよね？
幸せだよな？
思考を放り出して、
私の声に耳を澄ましたい
そんな気持ちで、
キミの中で高まってくる……

少しずつ、少しずつ、
キミに暗示と
催眠の気持ちよさを
刷り込んであげる

毎日、この場所で、
少しずつキミは
変わっていくの

楽しみだね。
キミはこれから、
どんな顔を
見せてくれるのかな？
大事な幼馴染みを、
どんな風に傷つけて
しまうのかな？

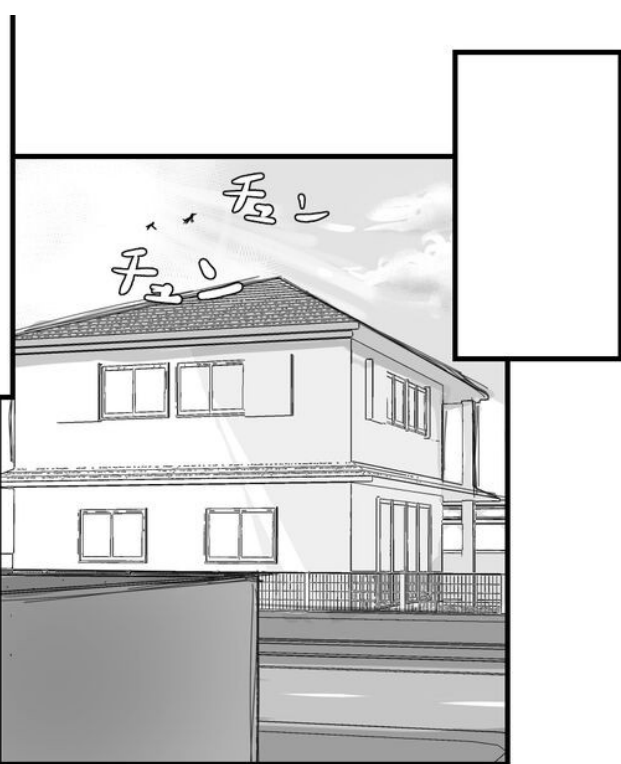
これから
よろしくね、
守屋君……♡



おはよ、
咲希

おん、
おはよう

今日は
早いね



私と、
あいつが？



ほら、
喧嘩ばっか
してるけど
もう少し
仲良く
できないか？

いや、まさに
お前の話
なんだけどな

……それ、
私に関係ある？



そういえば昨日、
七星さんと
話をしたよ



それは
分かってる

でも……



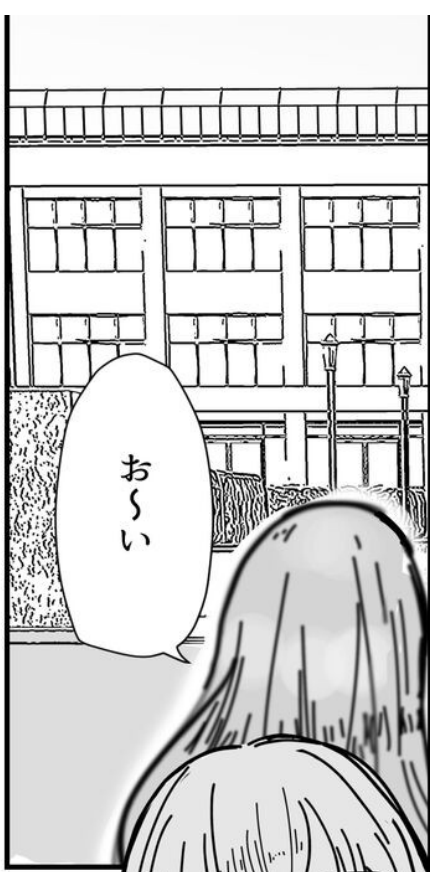
私はね。
七星さんみたいに
自分勝手に
ルールを破る人が
許せないの。
それは曲げられない



はあ……
あんたなら、
私の性格くらい
把握してる
でしょうに……



咲希の親は
警察官で、
こいつは
昔から……



おっ
おい



もわっ
そんな真面目に
言われなくても
分かってるけど
さあ



俺はただ、
お前のことが
心配なだけだよ



守屋君、
峰山さん、
おはよっ♪

七星さん、
昨日の今日で
いきなりだな。
ってか……



え、七星さん？
あー、
おはよう

私たち、
そういうことする
関係じゃないでしょ
なんか用？



ねえ
その反応は
ひどくない？
こっちは
ただ挨拶した
だけなのにさ
「げ」って…

やだなあ

私はただ、
峰山さんと
仲良くなりたいなあ
って思ってる
だけなのに

改めて見ると、
七星さんって、
すごく綺麗な顔
してるよなあ…
メイクとか
してるんだらうけど、
なんかすごく
色っぽいし



胸のポタン
外してるせいで
谷間が見えてるの、
わざとなのかな…
そうじゃなくても
巨乳で目を
引くの…

できれば
信じてあげたい
ところだけど、

私にはただ
校則違反の
お目こぼしを
もらいたいただけ
に見えるのよね

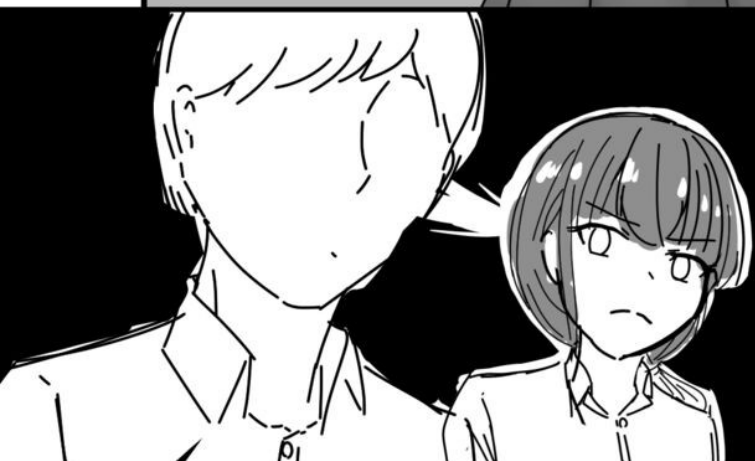
あはっ、
そういう気持ちも
なくはなかったり？

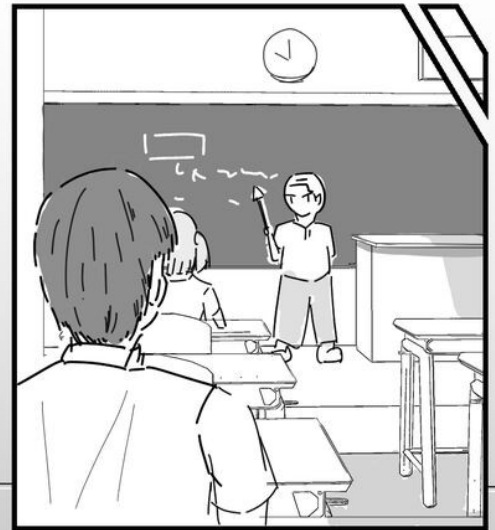
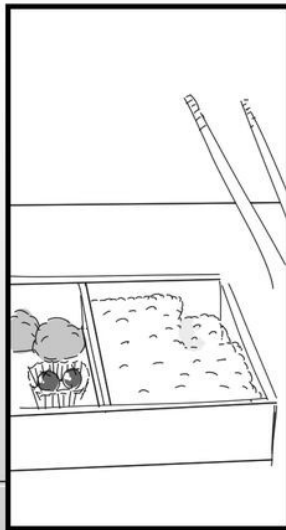
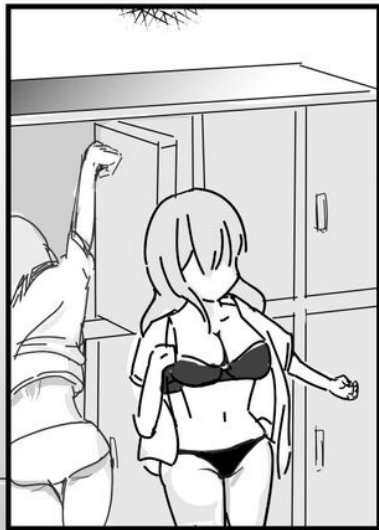
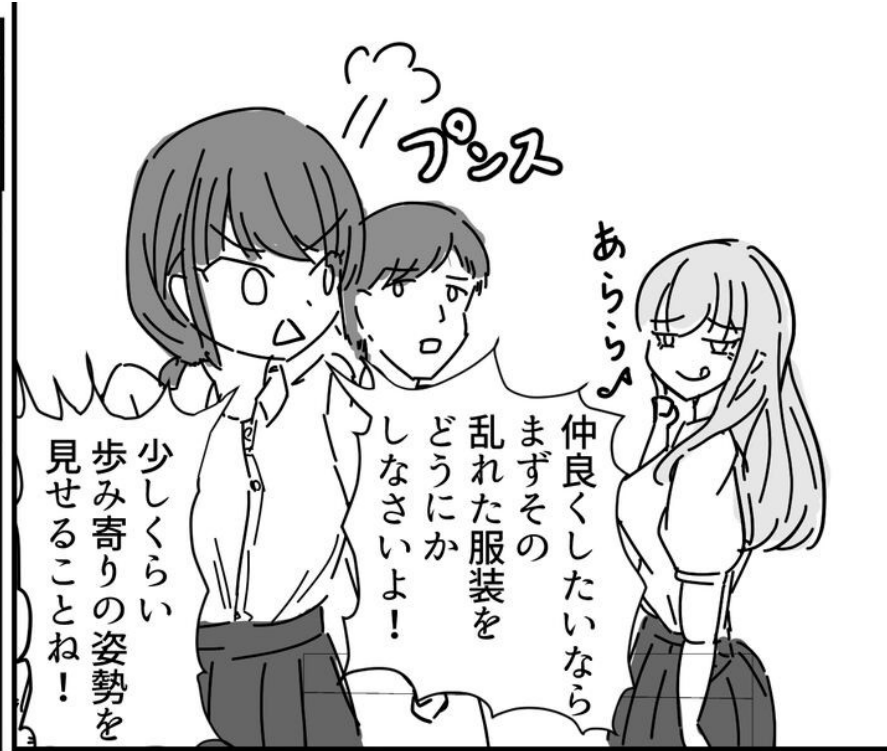
それにスカートも
短くて…
って、

今日はやけに
服装違反が
目に付くな…
咲希の癖が
移ったか？

っていうか、
陽一ってば
なんか視線
おかしくない？

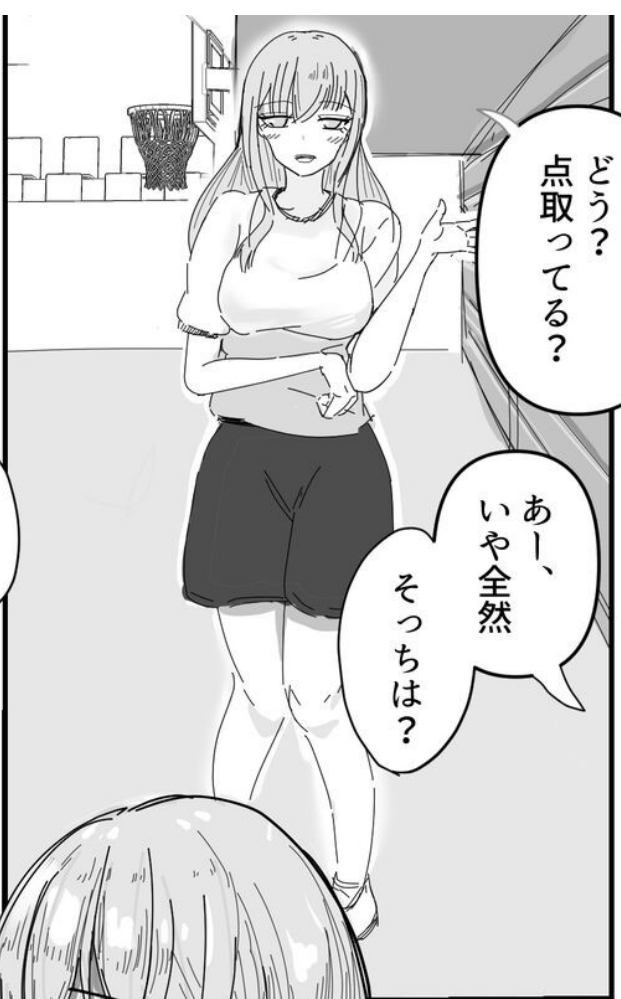
「私のことが心配」
とか言いながら、
本当は服装違反の
はだけた胸が
見たいだけ
なんじゃないの!?
あく、もうっ!







こっちも全然。
 っつか実はまだ
 ボールに
 触ってすらない



どう？
 点取ってる？

あー、
 いや全然
 そっちは？



ははっ
 七星さんって
 実は運動
 できない系？

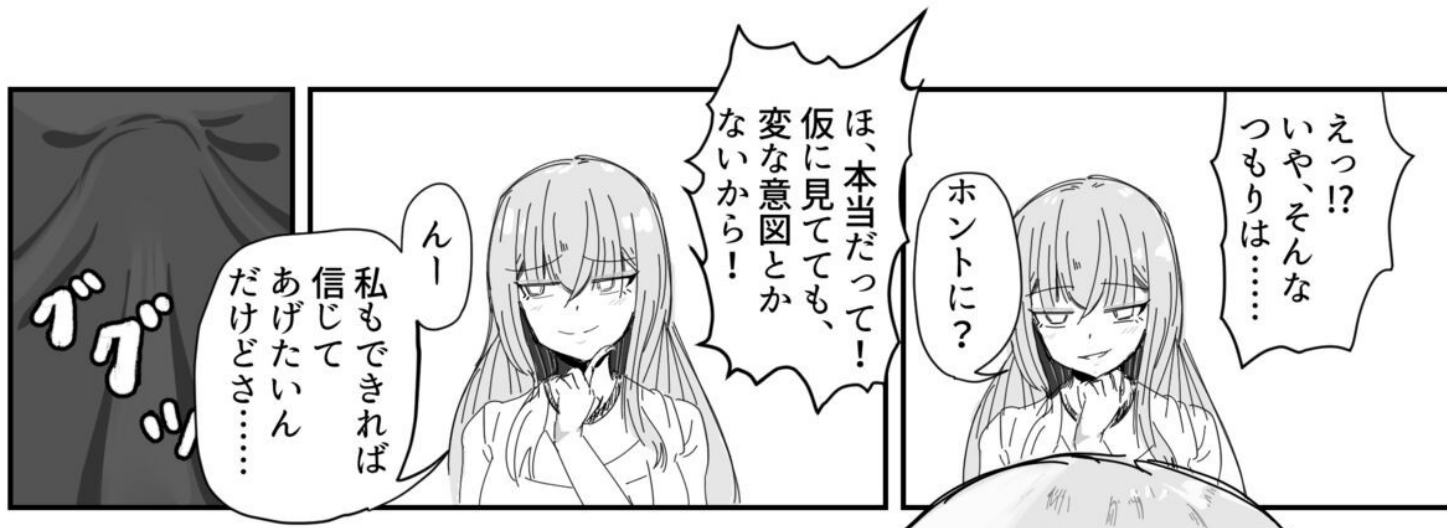
笑わ
 ないでよ
 酷いなあ…



…ところで、
 守屋君
 ずっと気に
 なってたん
 だけど…



なんか今朝から、
 すろっごく視線が
 いやらしくない？



ほ、本当だって！
仮に見ても、
変な意図とか
ないから！

私もできれば
信じて
あげたいん
だけどさ……

んー

ほんとに？

えっ?!
いや、そんな
つもりは……



膨らませ
ながら
言っても
説得力
なくない？



それじゃ、
続きは
放課後にね

え、あ……

……放課後?

あはは。
ごめんって

ちよっ!
ゴメン七星さん!
…でも、頼む、
触らないで……!

……そうだ。
放課後は
空き教室で
七星さんと
話すんだった……

あれ……？
でも、何を
話すんだっけ？



さあ、私の
『操り人形』さん、
目を覚まして

わからない。
わからないけど……
いいか、別に……

『操り人形』の
キミの心には、
私の言葉が
すーっと
染みこんでいく……

気持ちいいね♡
その気持ちよさを
受け入れて

あなたは
これから……



もしかして、
私のこと見て
勃っちゃったの？



……いいよ、
私も興奮して
きちゃった♡





お願い、
もらって♡
私の初めて



……やめないとな
七星さんだって、
好きでエロい身体
してる訳じゃないし、
おかずにされたくなんて
ないだらうし……

ああ……
やってしまった……
同級生を想像して
シてしまうとは……

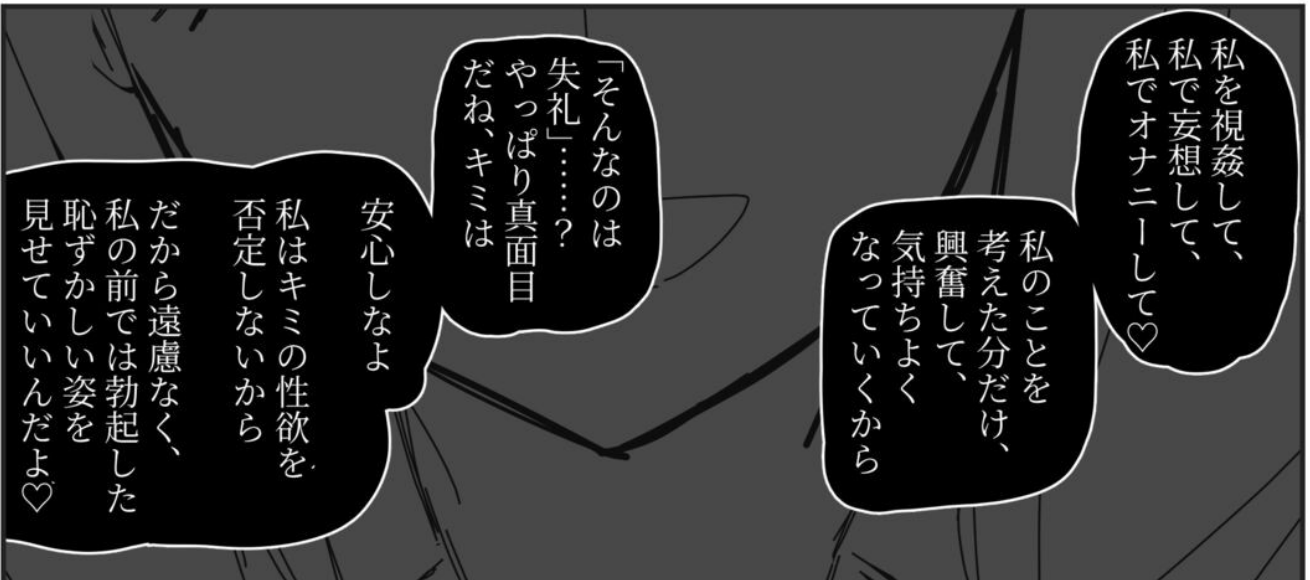


そうだ。
こんなことは
やめるべきだ…

…なのに!



毎日毎日、なんでそんなに
挑発的なんだよ……!

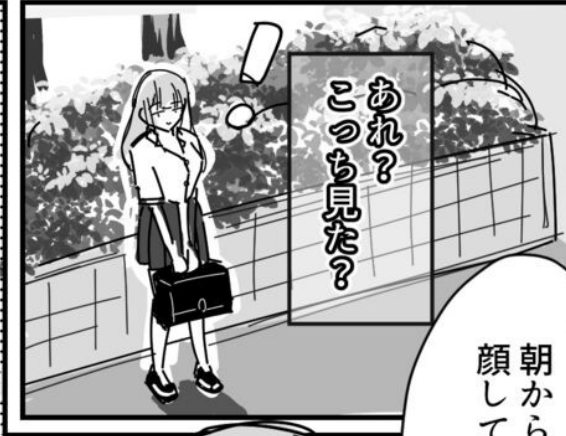


やめるどころか、
その頻度は
増す一方
だった……



朝からダルいし、
気合い、
入れないと……

あ、七尾さん……



あれ？
こっちは見た？

よっ！
朝から眠たそうな
顔してるじゃん♪

遅くまで
勉強でも
してたの？

あ、はは……
そんな感じ

言えるわけないだろ、
オナニーが長引いて
寝不足なんて



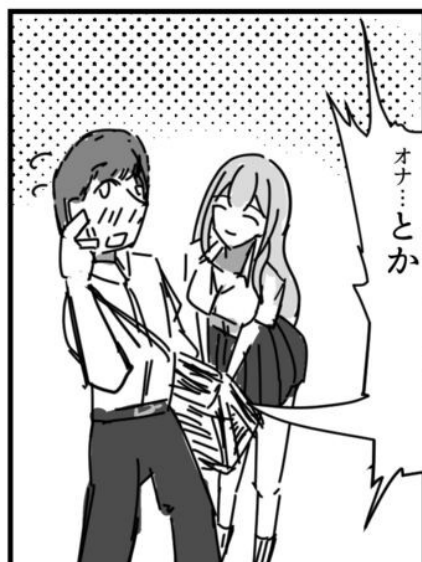
ふん



そんなこと言って、
本当はオナニーでも
してたんじゃないの？

ちよつ、な、
なに言ってるんかさ
オナ...とか

チ
ラ



あのさ

まさか、
嘘ついてたり
しないよね？

ズッ



これ、
『真面目な質問』
なんだけど

えっと、その、
本当は、した....

ちゃんと言いなよ。
「何を」したの？

あ、あれ？
俺、なんで
こんなこと
正直に
喋ってるんだ...？

お、オナニーを、
した....



私の真剣な質問には、嘘をつけなくなる。

嘘を「やっぱり」に罪悪感を覚えて、

正直に「何をかかずに」する。

私？

後ろ暗いことほど、

罪悪感

だって

うのは、隠した方が

自分にとって都合が

いいからだよね。

それを正直に話さ

のは、とても不誠実

なこと。

なんで謝るのさ。

昨日は何回

したの？

1回だけ？

さ、3回、かな

大丈夫、全

嘘ついちゃい

簡単でしょ？

その3回は、
どんなこと
妄想して
イッたの？

……パンチラとか、
こないだの
水泳の時の水着
思い出したりとか、
胸を触る想像を
してみたりとか……

へえ？
フェラとか
セックスするのは
想像しないの？

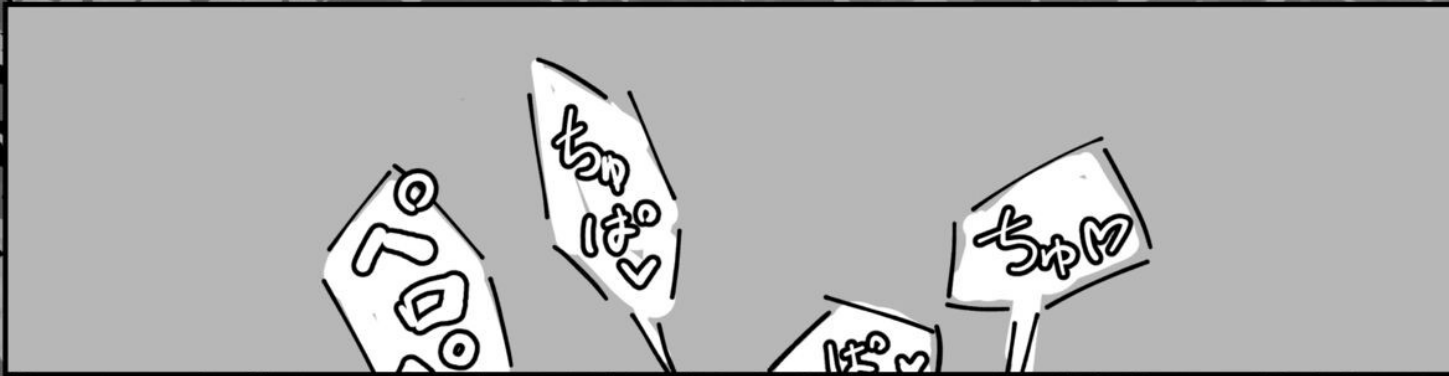
……あんま、
上手くイメージ
できないし……

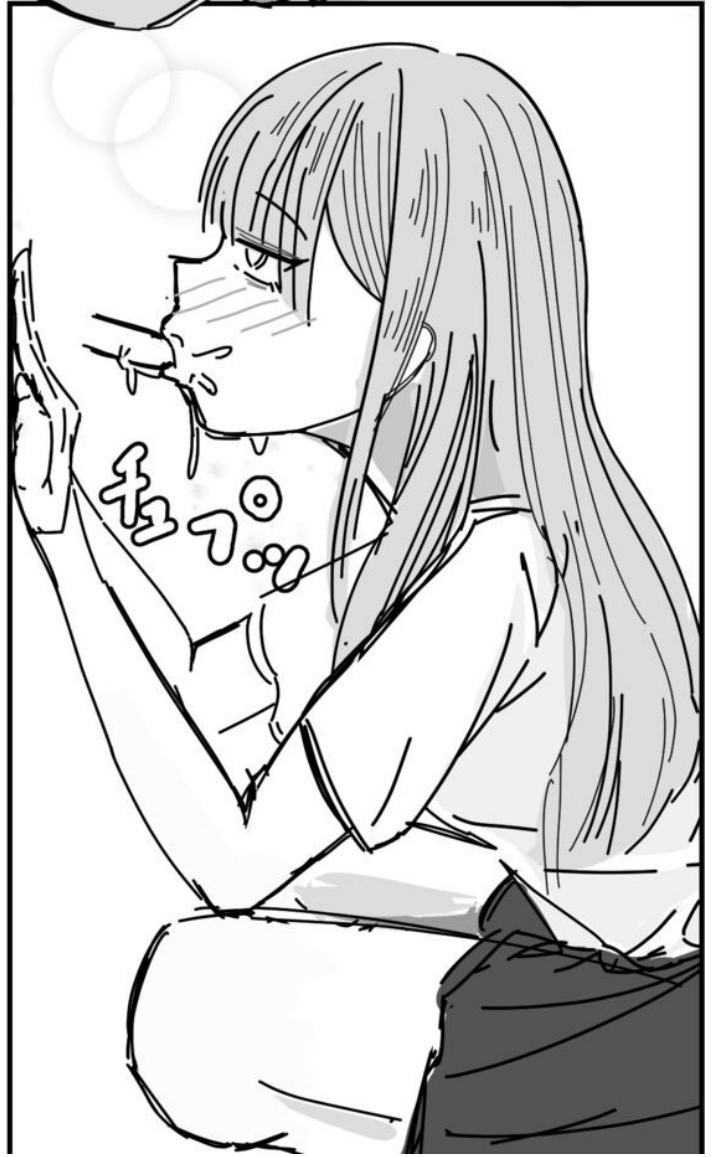
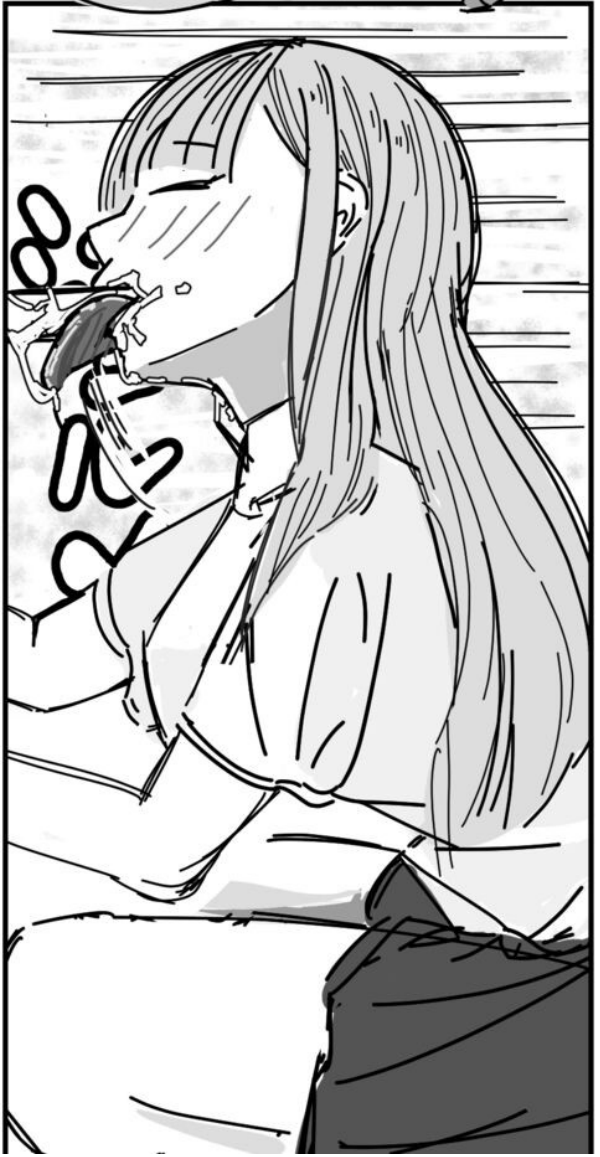
あー。
ごめんごめん、
童貞だもんね♡

じゃあほらっ、
こっち来なよ！

えっ？









ちゅーん

はっ♡

はも♡

ぽっ♡

な、七星さん、
これは、一体……



えろ？
「これ」って、
何のこと？

だ、だから
今の……

キミのおちんちん
勃起させちゃった
やつのこと？

う、
そ、それは……

あはっ

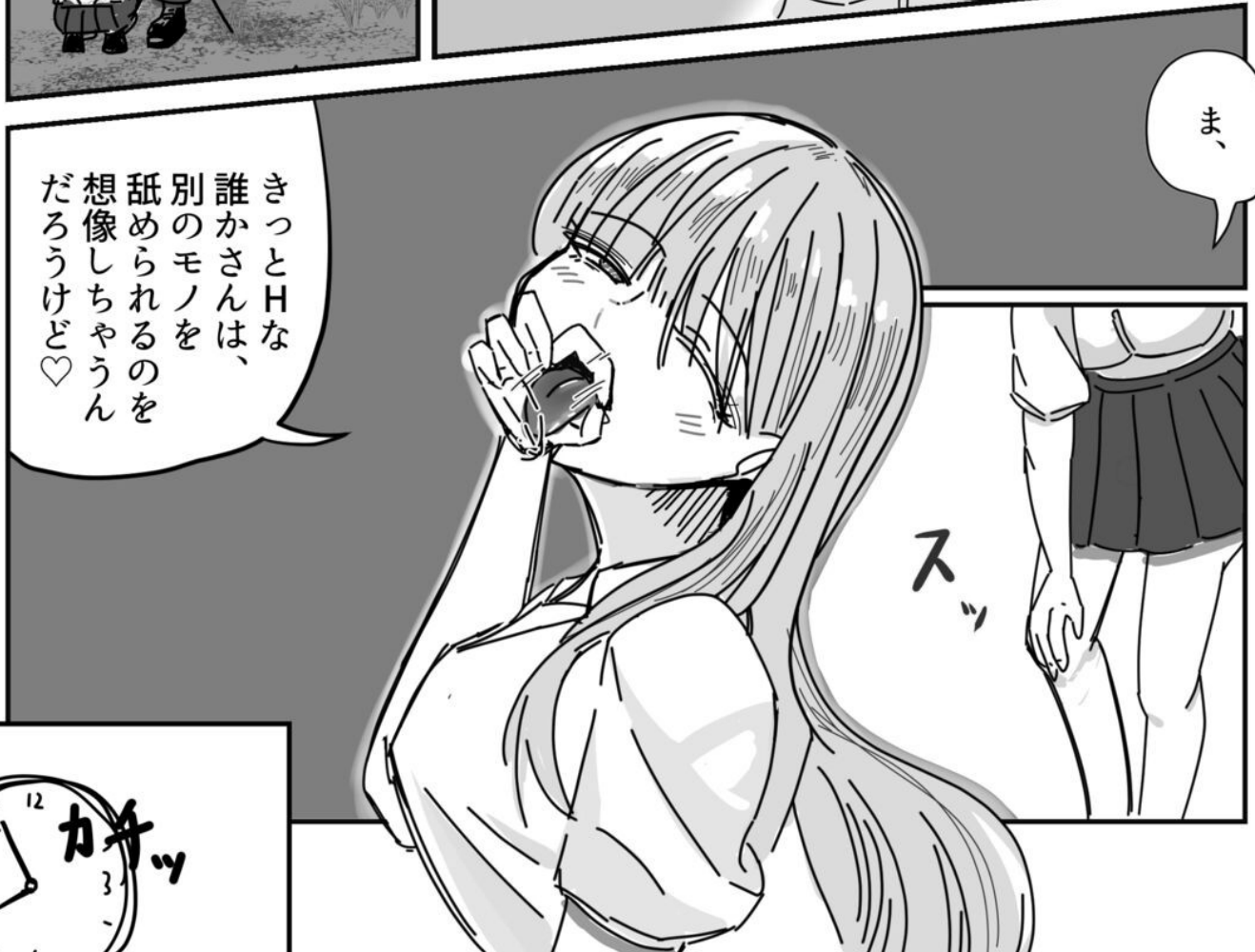


そう、かも
しれないけど……



ただ指を舐めた
だけじゃん♡

私、なーんにも
Hなことなんて
してないよね？



ま、

きつとHな
誰かさんは、
別のモノを
舐められるのを
想像しちゃうん
だろうけど♡



キーンユーン

あつ、予鈴

そろそろ
行かないと
遅刻しちゃう
んじゃない？

行かないとって
言われても……、
こんな状態で
行けるわけ
ないだろ……。

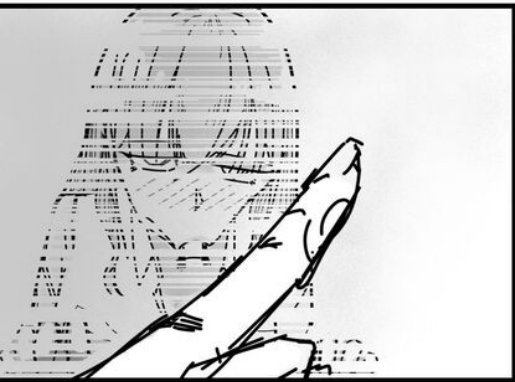
じゃ、
私先に
行くから

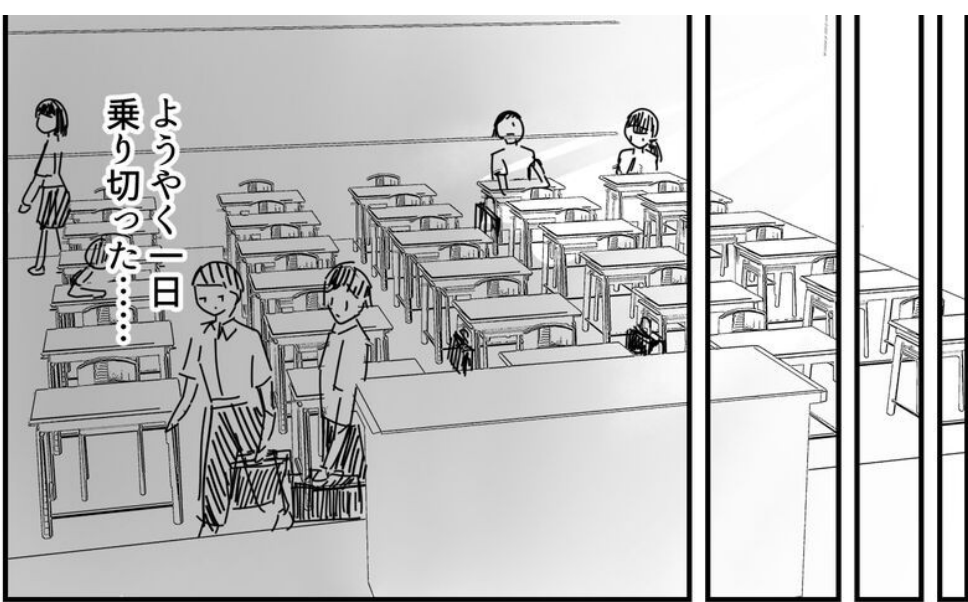
遅刻したら
また峰山さんに
怒られちゃうしね♪
ばいばい

否が応でも
さっきの光景が
頭に浮かぶ

家なら1回
抜いてしまえば
収まるけど……

くそ……、
我慢するしか
ないよな。





ようやく一日
乗り切った……

そうだ…、早く
七星さんの
ところに……!



あのさっ



咲希…?
なんだよ
こんな時に…



用事あるから
話なら
早く頼む

ユサユサ



あつ、ごめん

それでその、
最近、なにかあった?

調子、悪そうだけど…

「なにか」って、
別に、なんもないよ



その……

悪いけど



そ、そっか……



キュッ



やつ、ほら、

最近のあんた、
いつも寝不足の
間抜け面じゃない

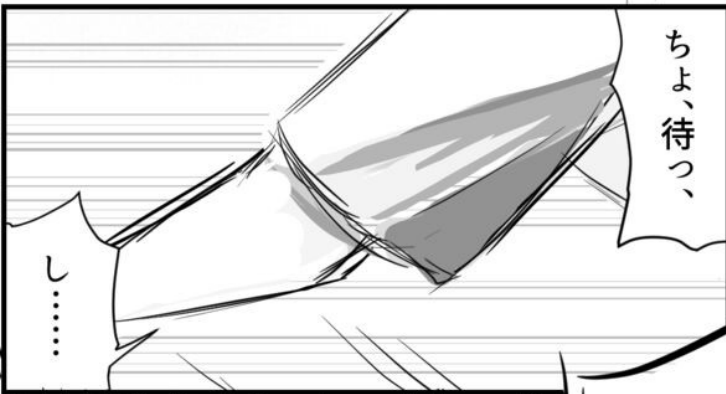
今日なんて
一日中ポーツと
してたでしょ?

簡単な問題
当てられても
間違えてたし





もう、いいか？
話ならまた今度な



ちよ、待つ、

し……



「心配だ」って、
あんたが
言ったんじゃない！



私だって、
あんたのことが
心配なの！
それくらい
分かってよ！！



咲希を守るための
はずだったのに……

俺はただ、
お前のことが
心配なだけだよ

俺が七星さんと
会ってたのは、

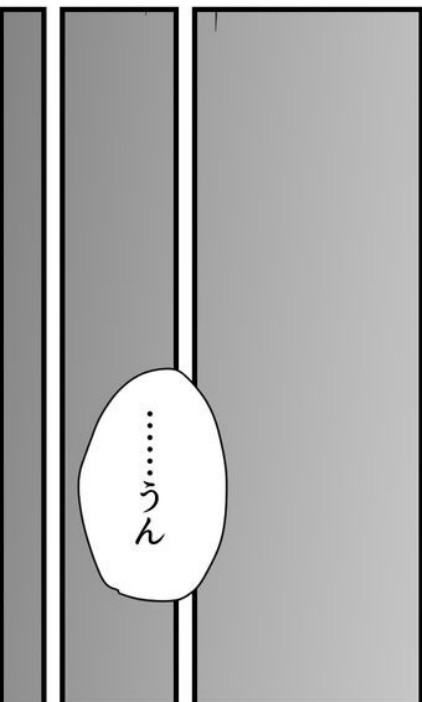


……あれ？

どうして話して
くれないの……？

どうしてそんな
冷たくするのさ……

俺、なんで
咲希を泣かせ
てんだ……？



……うん

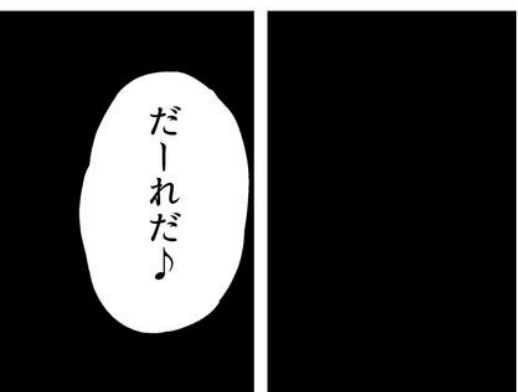


ごめんな、
俺の問題なのに、
心配かけて、
イライラしてさ……

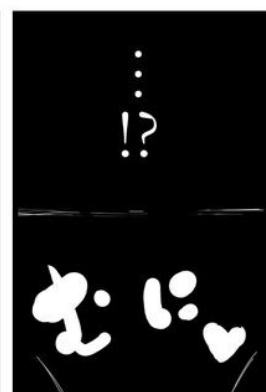
でも、もう
大丈夫だから。
咲希のおかげで
頭が冷えたよ



咲希のおかげで、
俺は冷静になれた。
だけ……



だーれだ♪



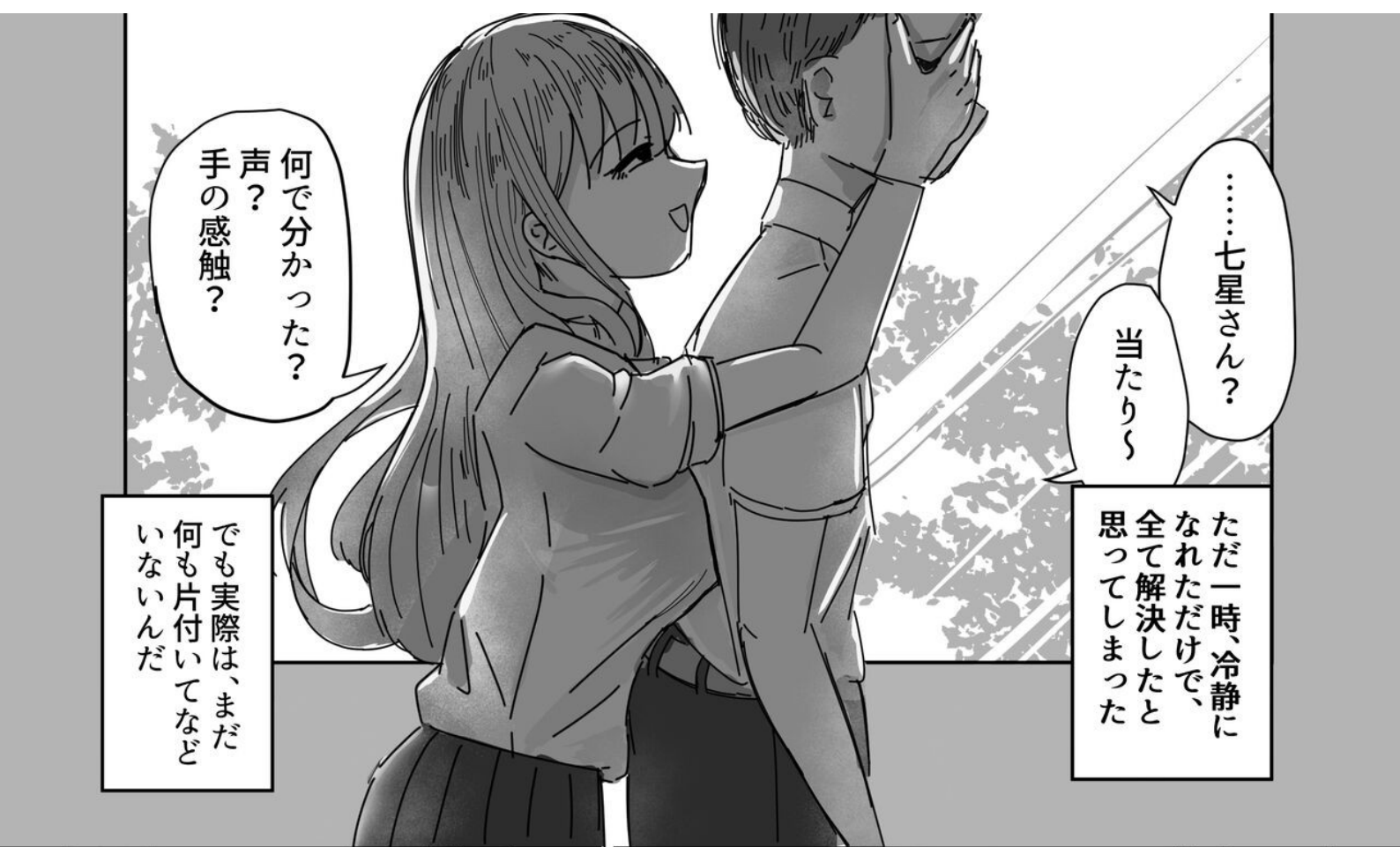
……!?

なに♡



ここしばらくの俺は
どうかしてた……

咲希には、まだ改めて
謝らないとな……



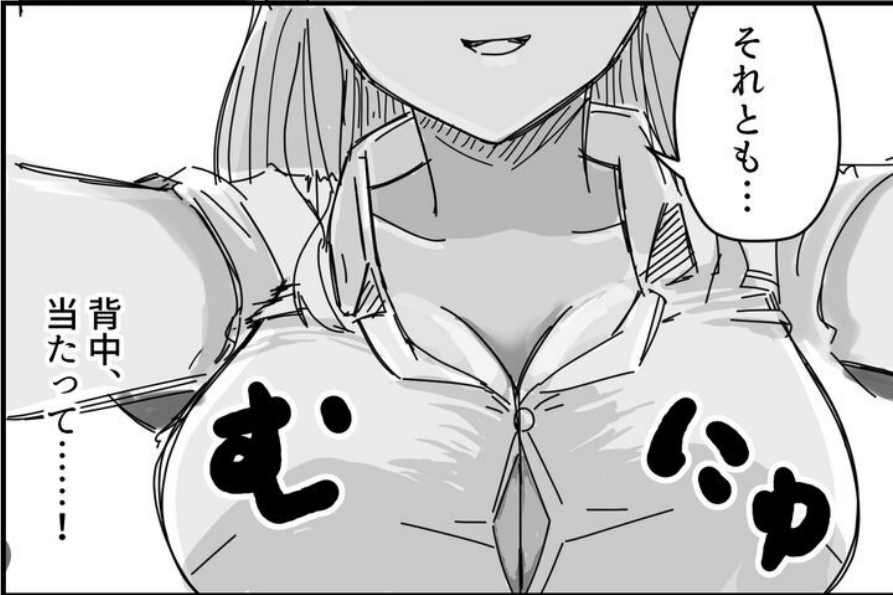
……七星さん？

当たり々

ただ一時、冷静になれただけで、全て解決したと思ってしまうた

何で分かった？
声？
手の感触？

でも実際は、まだ何も片付いてないんだ



それとも……

背中、当たって……！

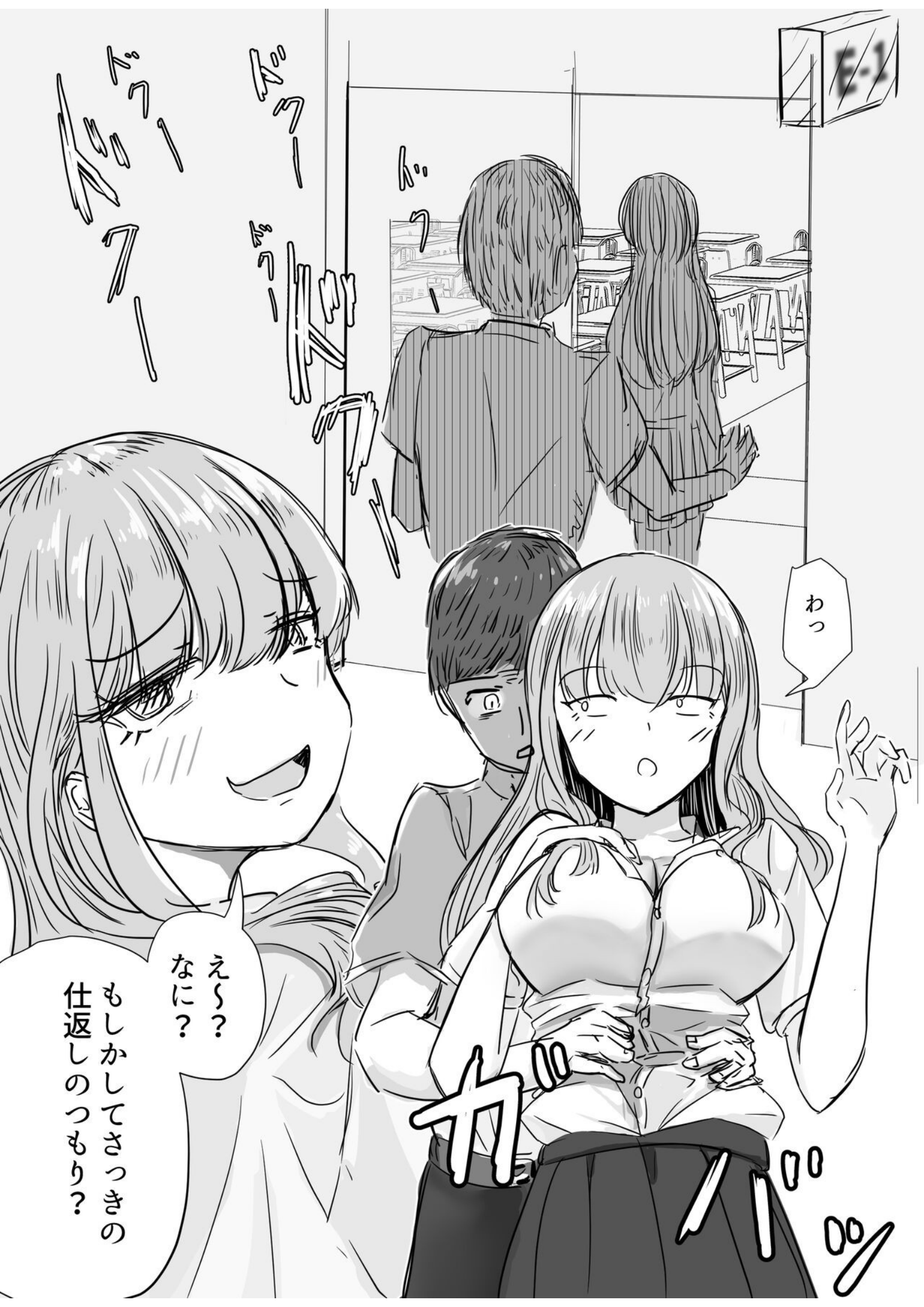


行こっか
空き教室

俺の中で育った欲望は、まだ何一つ満たされてないのだから……



あは♡
こんなところで興奮してたら、みんなにバレちゃうね♡



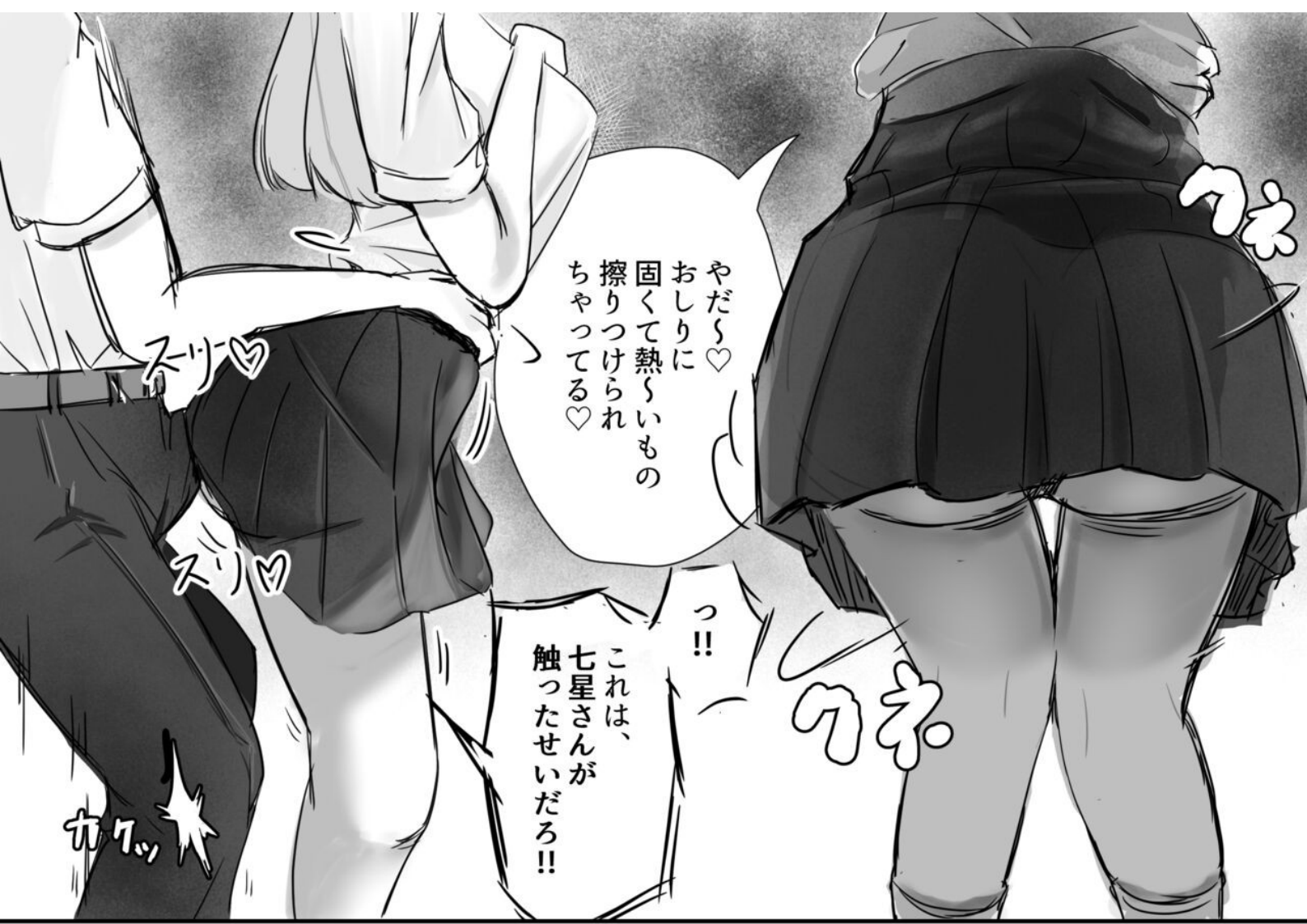
わっ

えろ？
なに？

もしかしてさっきの
仕返しのもり？

カッ

カッ



やだ♡
おしりに♡
固くて熱いもの
擦りつけられ
ちゃってる♡

スリ♡

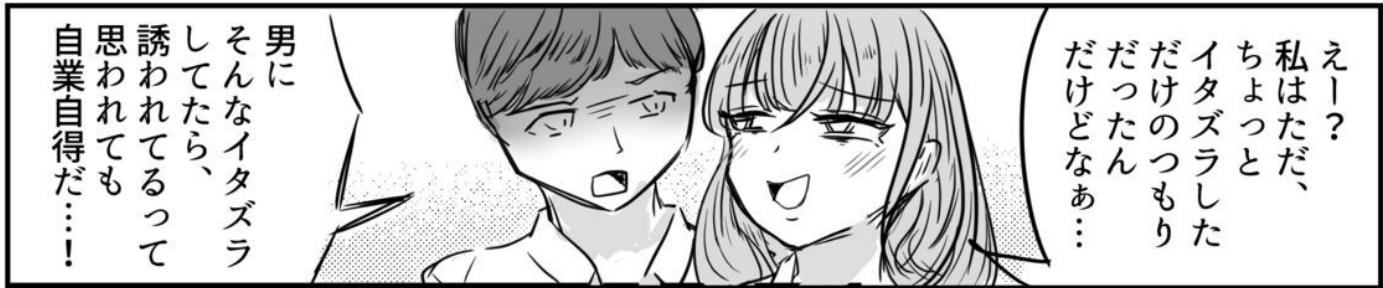
スリ♡

カクッ

これは、
七星さんが
触ったせいだろ!!

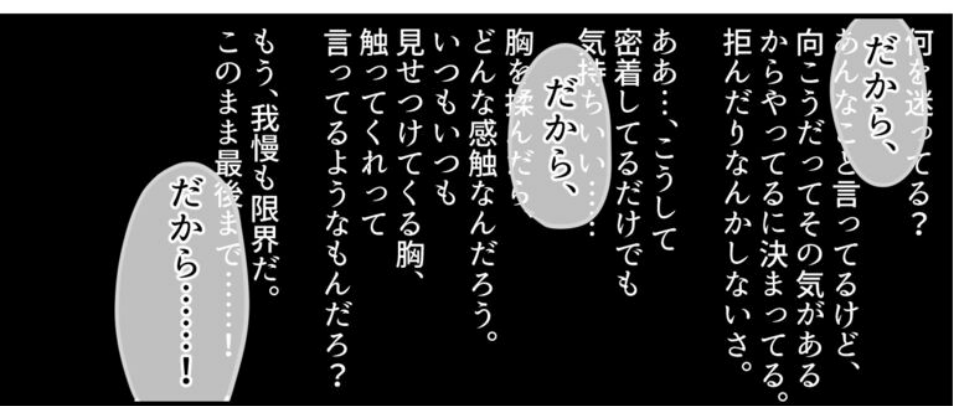
っ!!

カネ



えー?
私はただ、
ちよつと
イタズラした
だけのつもり
だったん
だけだなあ…

男に
そんなイタズラ
してたら、
誘われてるって
思われても
自業自得だ…!



何を迷ってる?
だから、
あんなこと言ってるけど、
向こうだってその気がある
からやってるに決まってる。
拒んだりなんかしないさ。

ああ…、こうして
密着してるだけでも
気持ちいい…
だから、

胸を揉んだら
どんな感触なんだろう。
いつもいつも
見せつけてくる胸、
触ってくれって
言ってるようなもんだろ?
もう、我慢も限界だ。
このまま最後まで……!

だから……!



だから!

カクッ
カクッ



私だって
あんたのことか
心算なの!!



だから……、

もう……



やっぱり俺は、
どこかおかしく
なっているみたいだ



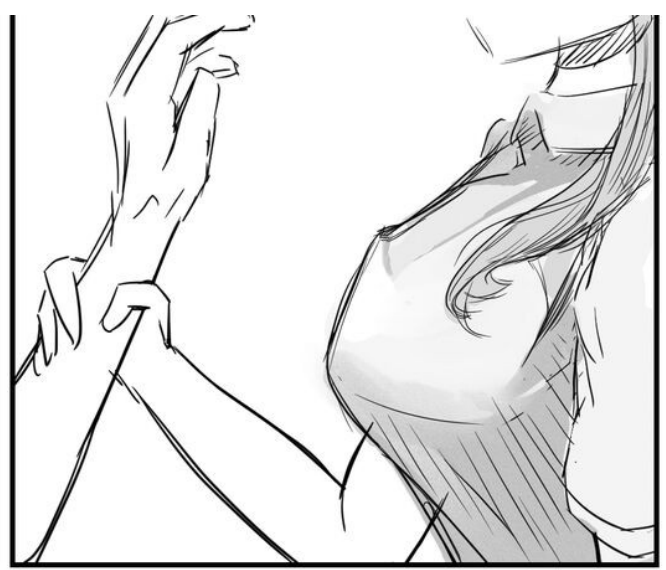
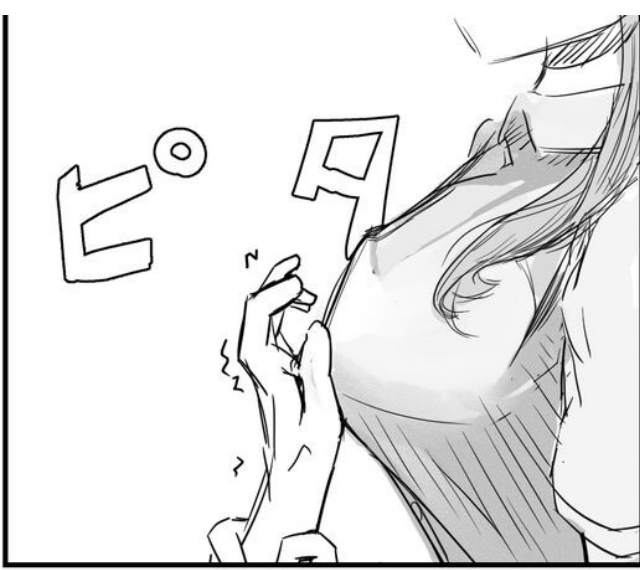
もう、
これ以上、誰も
傷つけるな……!

こういうのは
終わりにしよう



……っ！

これ……、
前に妄想したのと
同じ……

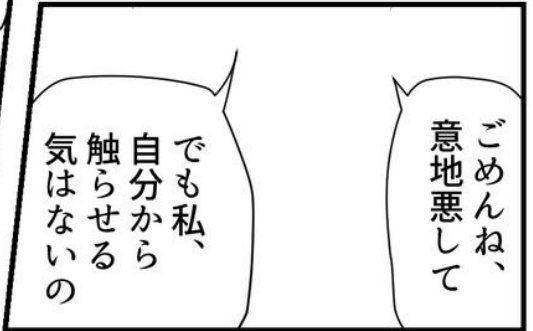


もう一度
冷静になろうと
目を閉じて、



それが嫌なら、
私の手を振り払って

触りたいなら、
キミが、自分の
意思で触ってよ



ごめんね、
意地悪して

でも私、
自分から
触らせる
気はないの



頭に浮かぶのは……



柔らかかつ

ん♡

服の上からでも、
形が変わるのが
わかる……!!

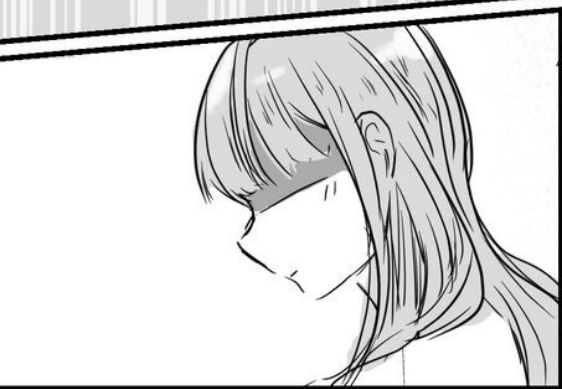
はぁ

ムヂュ

ムヂュ

ちよっと、
がっつきすぎない♡

む♡♡♡



うん



頼む。
俺、七星さんと
セックスしたい

もう、
我慢なんて
できるわけ……!!

あーあ、
言っちゃった



いいよ



それもその性欲は、
私が少しずつ
たがを外してきた
とびつきりの
やつだもん♡

ね、
キスしよ♡



惜しかったね♡
ここで拒まれたら、
流石に諦めるしか
ないと思ってたのに

でも仕方ない、
仕方ない♡
男の子が性欲に
勝てる訳ないん
だから♡

でも今はゴムもないし
抜いてあげるだけね？
いい？

モッ♡モッ

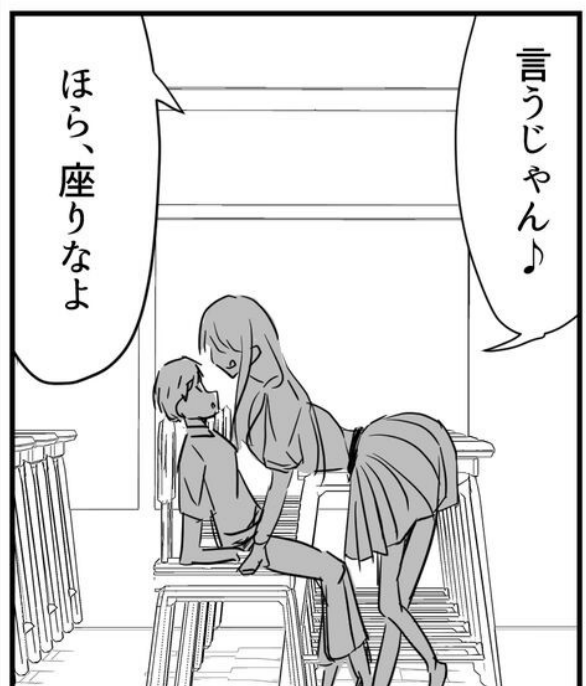


ちんちん、
触って欲しいんですよ？



顔、真っ赤

…七星さんが
がつつくから
だろ……



言うじゃん♪

ほら、座りなよ



あっ♡
こっちの方が
反応いいじゃん♡
じゃあ…

なら裏筋は…



カリはどう？

まだ
これからだよ？♡



どう？
気持ちいいでしょ♡

あ、ああ…



あは♡
我慢汁
漏らし
ちゃったね♡

おちんちん
ビクビクして
る♡



限界？
イキそう？

ヤバいっ！
もう…





え？



イキそうっ!!



キミ、
好きな子がいるのに
こんなことしていいの？



な、七星さん……？



そういえば、
一つ聞き忘れて
ただけど…



え、その…

守屋君さ、
峰山さんのこと
好きでしょ。
もちろん
恋愛的な意味で

いいからさっさと
正直に答えなよ

え？
…え？



じゃあさ、
峰山さんには
こうやって
告白する？

『俺にはちんちん気持ちよく
してくれるセフレが
いるけど大好きです！
付き合ってください！』って

そ、そんなこと
しな—ぐぐ！

っていうかそもそも、
本命の女の子がいるのに
私に手を出したんだ

それって私にも
失礼だと、
ちよつとは
思わなかったのかな？
シヨック…

ち、違っ—！

…っ！
好き、です…

…って、
また、つい、
正直に…！

へ？
それなのに、
私におちんちん
触られて気持ち
よくなってるんだ？

違う？
何が違うの？

現に今キミがしてる
ことは、私と峰山さん、
二人を蔑ろにした、
独りよがりな
最低の行為だよ

違う、違んだ……！

俺は……！
そんな
つもりは……！

じゃあ、ここで
やめてもいい？

ちんちんパンパンに
したまま我慢して、
これから先も
一人でシコシコ
するだけ満足？

いや、我慢だ……
「やめる」って
言わないと……

言え……

言うんだ……！！

やめて……
欲しくない……



……？
俺が、
七星さんを……、
好

つらかったね、
苦しかったね、
不甲斐なかったね
悔しかったね、
でも気持ちよかったね

大丈夫……。
『操り人形』の
キミは、私が
救ってあげるから

操り……？

なん

ギュ♡

安心して。
キミは私を
ただの性処理の道具、
オナホ扱いするような
酷い人じゃないよ

じゃあどうして
私とセックス
したいなんて
言ったんだらう？

……わかるよね？

『キミが私のことを
好きだから。
峰山さんより私を
選んだから』でしょ？

キミは誠実に好きな子と
セックスしてるだけだし、
私も愛のあるセックスが
できて嬉しいな♡
峰山さんには……、
まさか好きな子がいるのに
告白なんてしないよね♡

ほら、
心に刻みつけなよ♡

好き

好き

好き♡

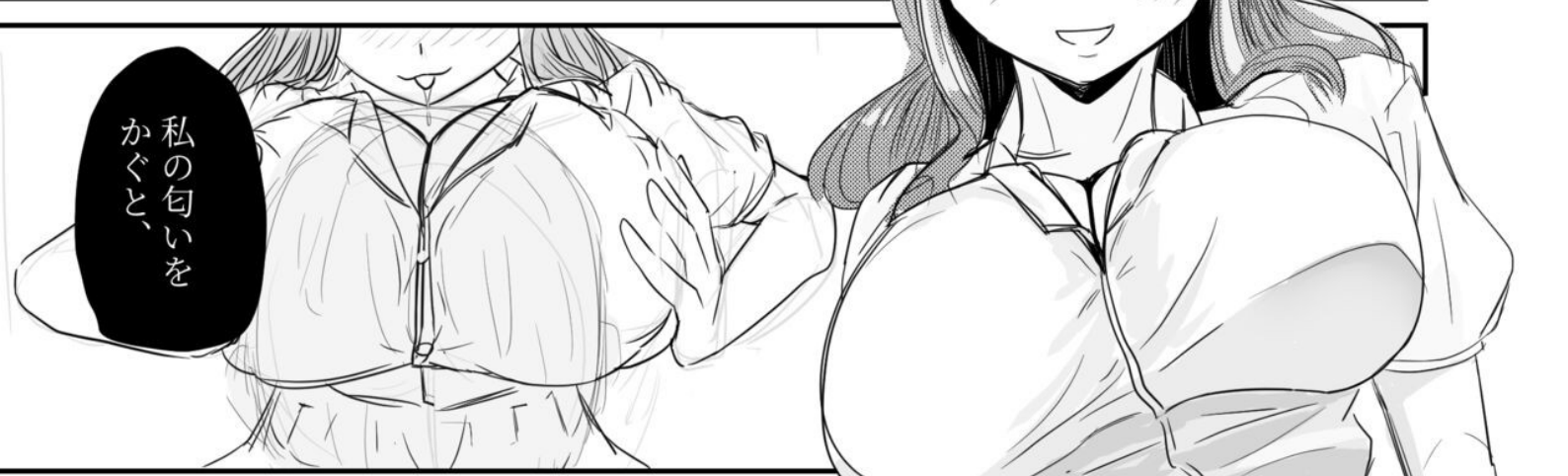
キミは七星香織の
ことが大々好き♡

ズリ♡
ズリ♡



私の声を
聞くと、

私を見ると、



私の匂いを
かぐと、



私の身体に
触れると、

もうドキドキが
抑えられないね♡



さあ、目を覚まそうっか
目を覚ましたら
ここで言われたことは
忘れちゃうけど、
変えられた価値観は
二度と元には
戻らないからね……

ほら、
3, 2, 1……

七星さん、
いつの間にか
膝の上に……

おはよう
守屋君

う…、
あれ……？
俺、
いったい……

ええ、なにそれ。
ひどく

あ、ごめん、
ポーツとして……

いや、
ゴムないって
言ったじゃん

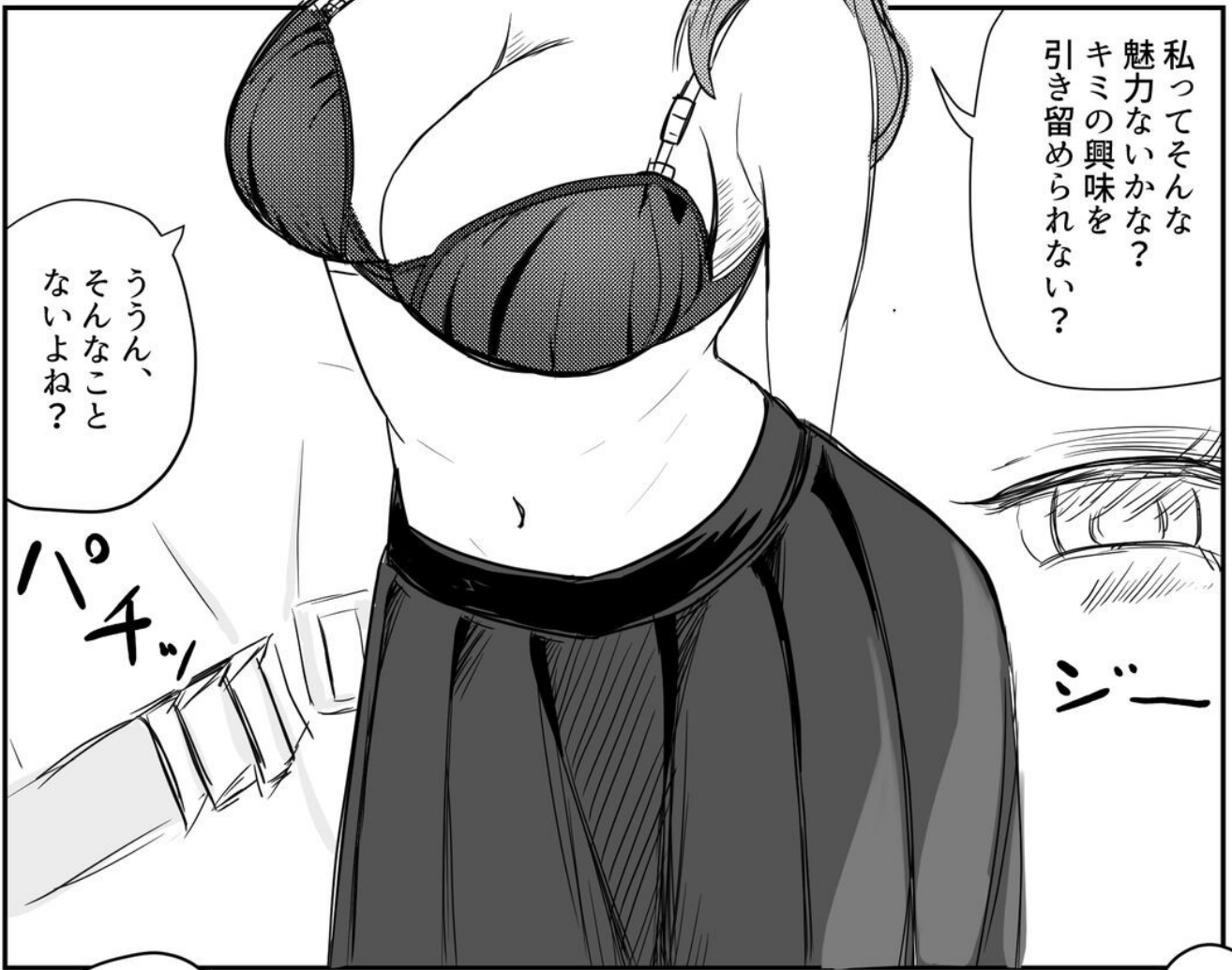
つて、え!?
もしかして
挿入って……!?

フキ

フキ

ズリ

ズリ



私ってそんな
魅力ないかな？
キミの興味を
引き留められない？

ううん、
そんなこと
ないよね？

パチッ

ジーン

だって

熱い視線を
感じるもの♡



限界おちんちん、
そろそろ
追い込んであげる♡

面白いよね。
ちんちんへの
刺激で言えば、
手コキの方が
強いのに、

こっちの方が
ドキドキして、
すぐに頭も
ちんちんも
ドロドロに
なっちゃう♡

それは、
七星さんが
してくれる
からで……

うんうん♡
私くらいの巨乳なんて
そうそう居ないもんね♡

いや、そうだけど、
なんだから……？
それだけじゃなくて……



ただ気持ちいい
だけじゃない……

心が暖かく
満たされるような……

ドク

ドク

もうイキそうだよね？
でももうちょっと
我慢だよ♡
最後は……

ほら、
飛び散らないように、
口の中に射精して♡

朝からずっと
我慢してたから

啜えた瞬間
射精しちゃうかもね♡



唇も舌も
柔らかかつ……

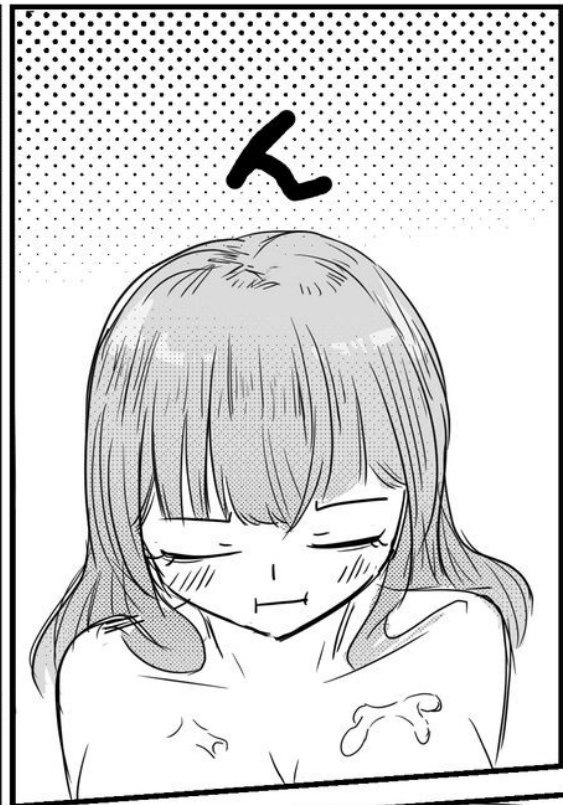
舌が、気持ちいいところに
執拗に絡みついてくるっ

ダメだ……っ！
ほんのちよつと
動いただけなのに……！



七星さん、
もう、イク!!





てゆーか？
どっちかって言うとならぬ
毎日オナニーしてると
言っただくせに、
こんな濃い精子
いっぱい出した方に
驚いてるんだだけど？

そんなに
気持ちよかったか？

そりゃ、
七星さんは
なんか色々
上手いし……
か、可愛いし……

ありがとう♡
私も気持ちよくなって
もらえて嬉しいよ♡

ドキッ



射精したのに、
まだ気持ちの
昂ぶりが収まらない……

「最近の俺は、
何かおかしい」
そう思っていた
けれど、これは……
この気持ちは……

俺は今まで、
「それ」はもっと
綺麗なものだ
思っていた

今日まで、長かったな……。
催眠に違和感を
持たれないように、
拒否されないように、
小さなところから
変えていくしか
なかったから

だから性欲とか、
邪な思いにまみれた
今の気持ち
そうだと
思わなかった。
だけど、もう
気づいてしまった……

気持ちよさをエサに
徐々に性欲を高めて、
それを私に向けさせた。
現実での誘惑で
心を揺らして、
催眠で更に欲を刺激する。
やがて理性と本能の
天秤は壊れて、
キミは、キミの理性に背く
間違いを犯した。
その間違いを正すために
キミは……

ああ、これが、
本当の恋なんだ……

偽物の恋心を
受け入れちゃった

もう逃げられない
もう覆らない

キミはこれから、
私に嫌われたくない
一心で、たくさん
「お願い」を聞いて
くれるんだろうな……

サッ

……帰ろっか

それからというものの、
七星さんとのセックスが
俺の日常となっていく…

七星さん…、
いきなり女の子から
入れてもらうのは、
その…

無理して
格好つけなくても
いいって♡

童貞
なんでしょ？

うっ…
痛いところを…

あー♡♡

ほら、これが今から
ちんちん食べちゃう
私のまんこだよ？

よく目に
焼き付けてね♡

こうやって
入り口に当てて…

ピ
ト

力をかけていく…

と！

バ
ブ

はい♡
童貞卒業
おめでと♡

シット...
好きな女の子の、
内側に、
俺のチンコが...!

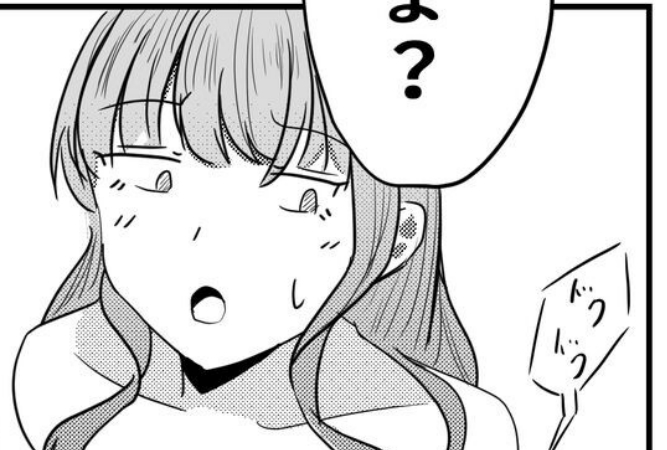
そうか、俺、
今、七星さんと
繋がってるんだ...!!

暖かくて
優しく、性器を
圧迫してくる...
これがまんこ、
七星さんの中の
感触...!!



じゃあ、
そろそろ動く

—よ?





うっわ……。
ホントに
終わったんだ……

ごめん、その、
緊張して……

緊張？
興奮の間違い
じゃないの？



でも、これはこれで
思い出に残る初体験に
なったんじゃない？

女の子を全く
気持ちよくさせられずに
射精しちゃうなんて、
恥ずかしくて一生
忘れられないでしょ

ま、私にとっては、
すぐ忘れちゃいそうな
つまらないセックス
だったけど、さ



っ、次は上手く
やってみせるから……！

うん、そうだね

私に嫌われたく
なかつたら、
せいぜい頑張りなよ……♡

少し慣れてからは、
放課後だけでなく
人に隠れて
することも……

いいの!?!
壁の向こうでは
みんな授業中なのに
気持ちよくなってる!

し、静かになっ……
というか誘ってきたのは
そっちでしょ……!!

うん、そうだよね♡
こんな状況なのに、
誘われたらおちんちん
気持ちよくすることしか
考えられないだもんね♡

ま、いいじゃん♡
これもスポーツ
なんだ……しっ!!



もう、イクっ!!

ズッポッ

ドクッ

ドクッ

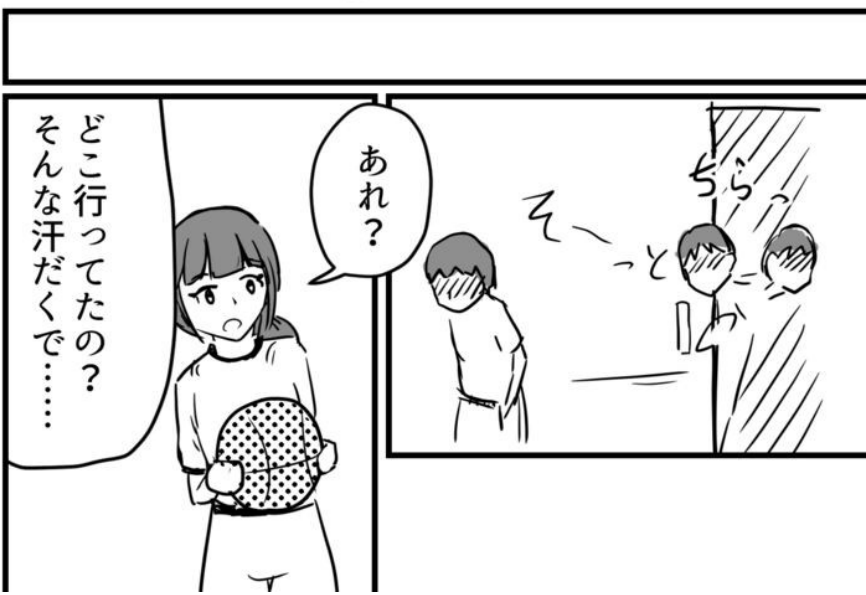
.....ふう♡
私も背徳感に
当てられちゃった...♡

今日のよかつたよ、
守屋君♡



いやその、ちよっと
トイレに.....
走ってな!

ふーん?



あれ?

どこ行ってたの?
そんな汗だくで.....

ちら?

と

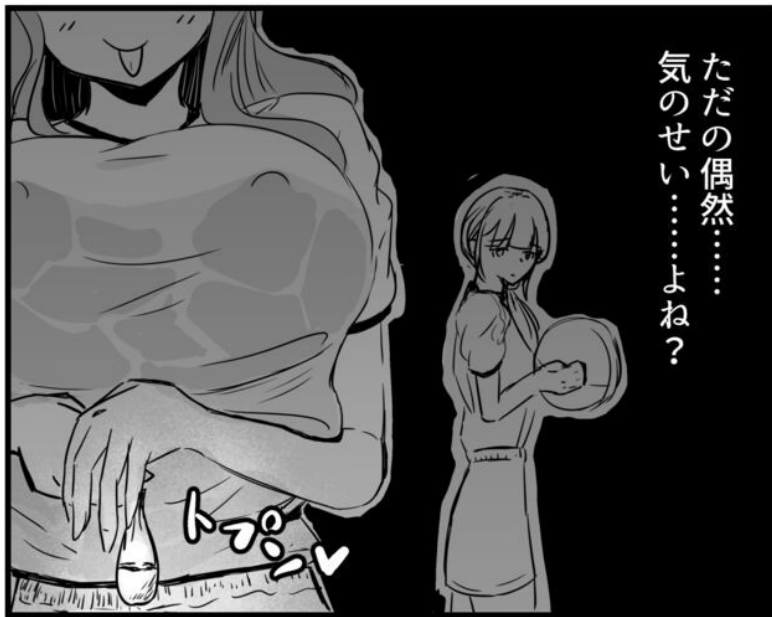


あれ？
確か、七星さんも
試合してなかった
はずなのに
汗だくで……

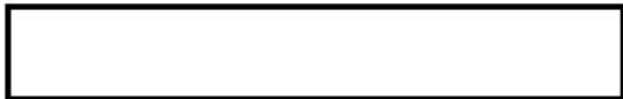


ど、どうか
したか……？

あ、ううん、
なんでも……



ただの偶然……
気のせい……よね？



七星さんの言葉には
不思議な魅力があつて
時々どうしようもなく
抗えなくなるけど……

ねえ、
イメージして

キミが峰山さんに
抱いてる恋心、
それを今から
精子に込めるの

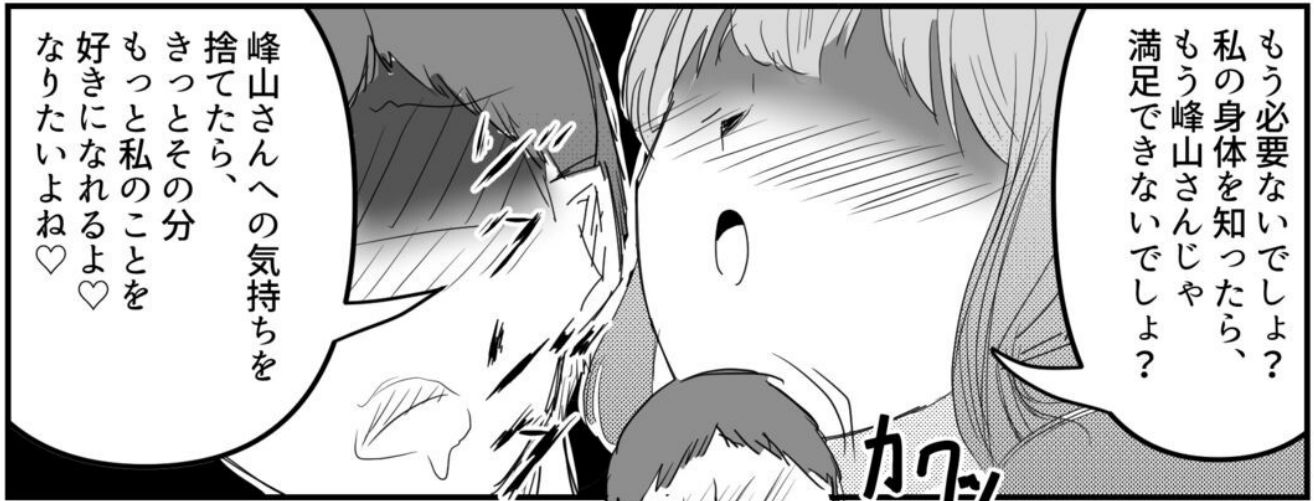
その精子を
びゅーっと
吐き出すと、

恋心を込めた分だけ、
捨てた分だけ、
いつもより気持ちよく
射精できるよ♡

わかるよね♡
想像しただけで
興奮しちゃうよね？♡

ほら、
こっち♡

ゴミ箱めがけて
恋心
コキ捨てちゃお♡



もう必要ないでしょ？
私の身体を知ったら、
もう峰山さんじゃ
満足できないでしょ？

峰山さんへの気持ちを
捨てたら、
きつとその分
もつと私のことを
好きになれるよ♡
なりたいたいよね♡



ほい♡
イッチャっえ♡

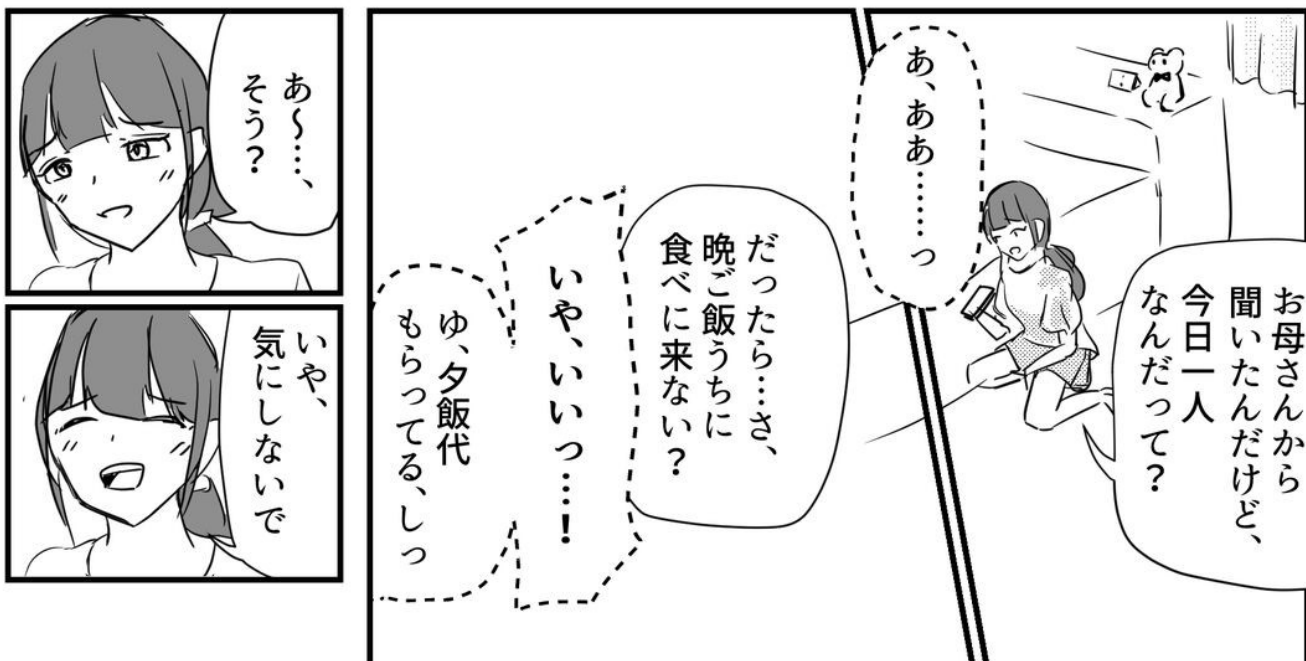
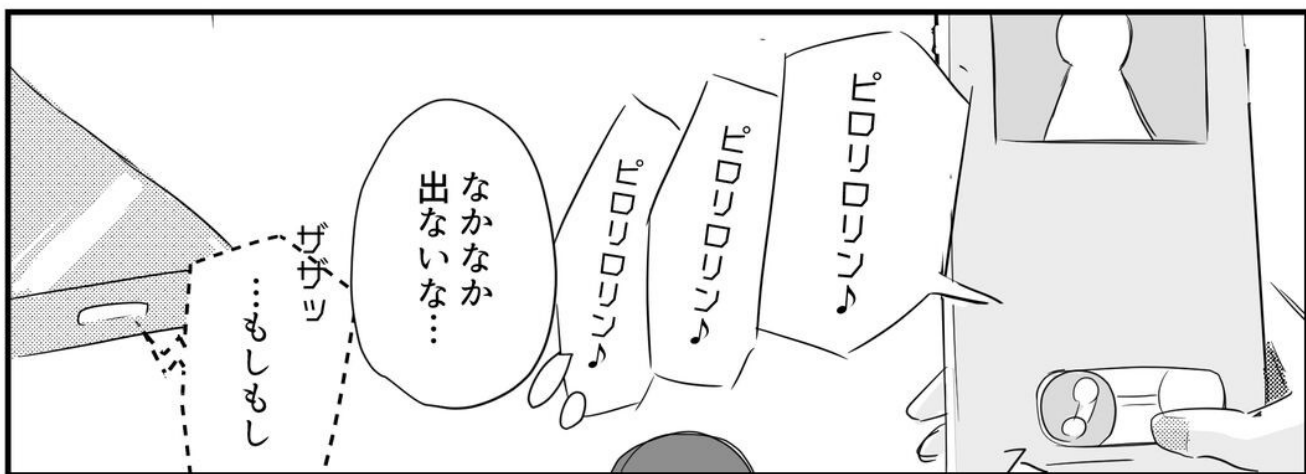


これでいいんだ…
俺にはもう、
七星さんのいない
日々なんて
考えられない……

でも、いっぱい
気持ちよくなれたから
幸せ、だよね♡



うわー、
いっぱい出たね♡
大切な想い、
いっぱい
捨てちゃったね♡





でも、
一人だからって
体に悪いもの
食べ過ぎるんじゃ
ないわよっ

分かってる——っ!

ズパ



……?
さっきからノイズ?
それと、息荒いけど
どうかしたの?

そ、外、外にいるんだよ
そういうわけだから、
もう用件は済んだよな!

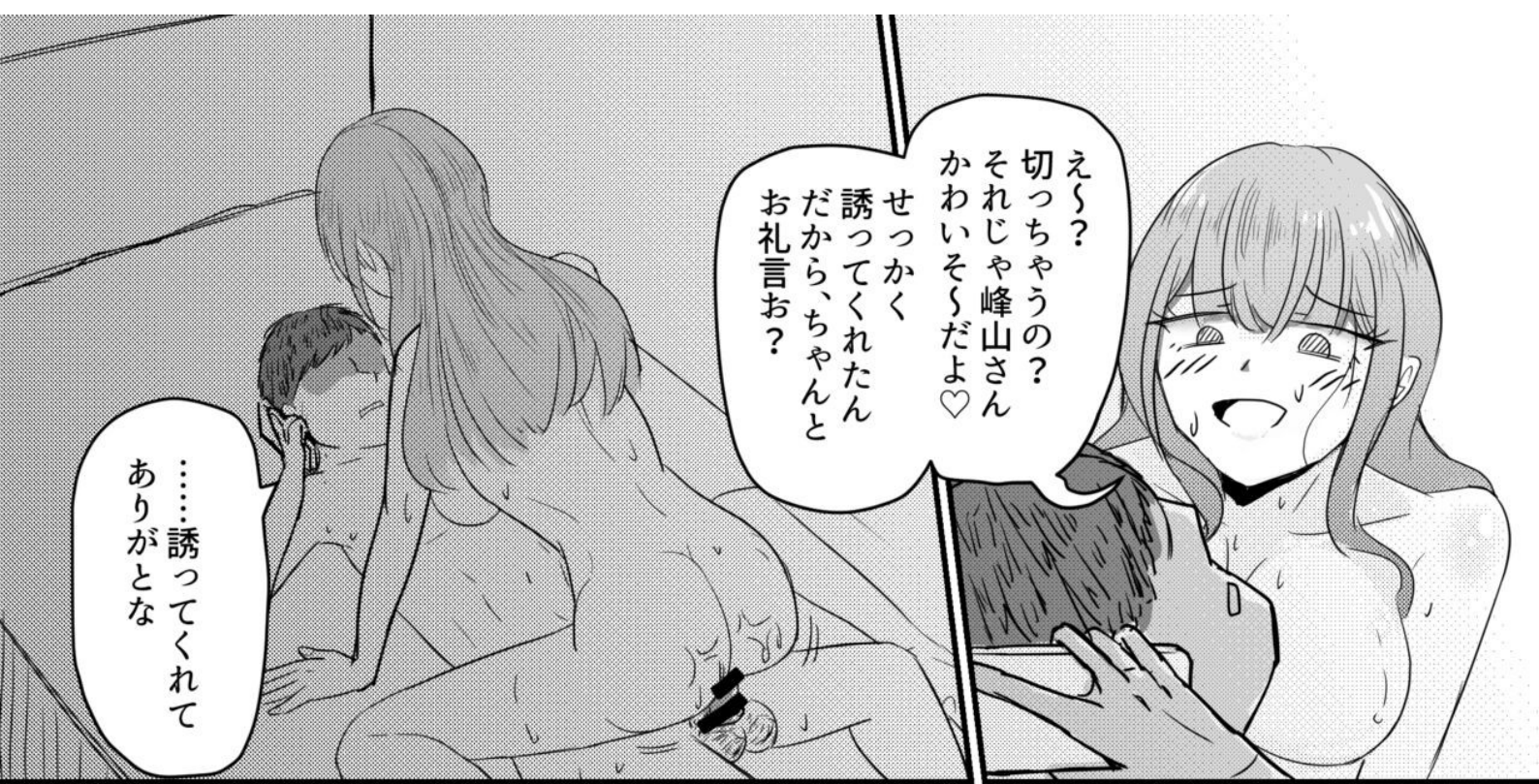
う、うん……

アッ

アッ

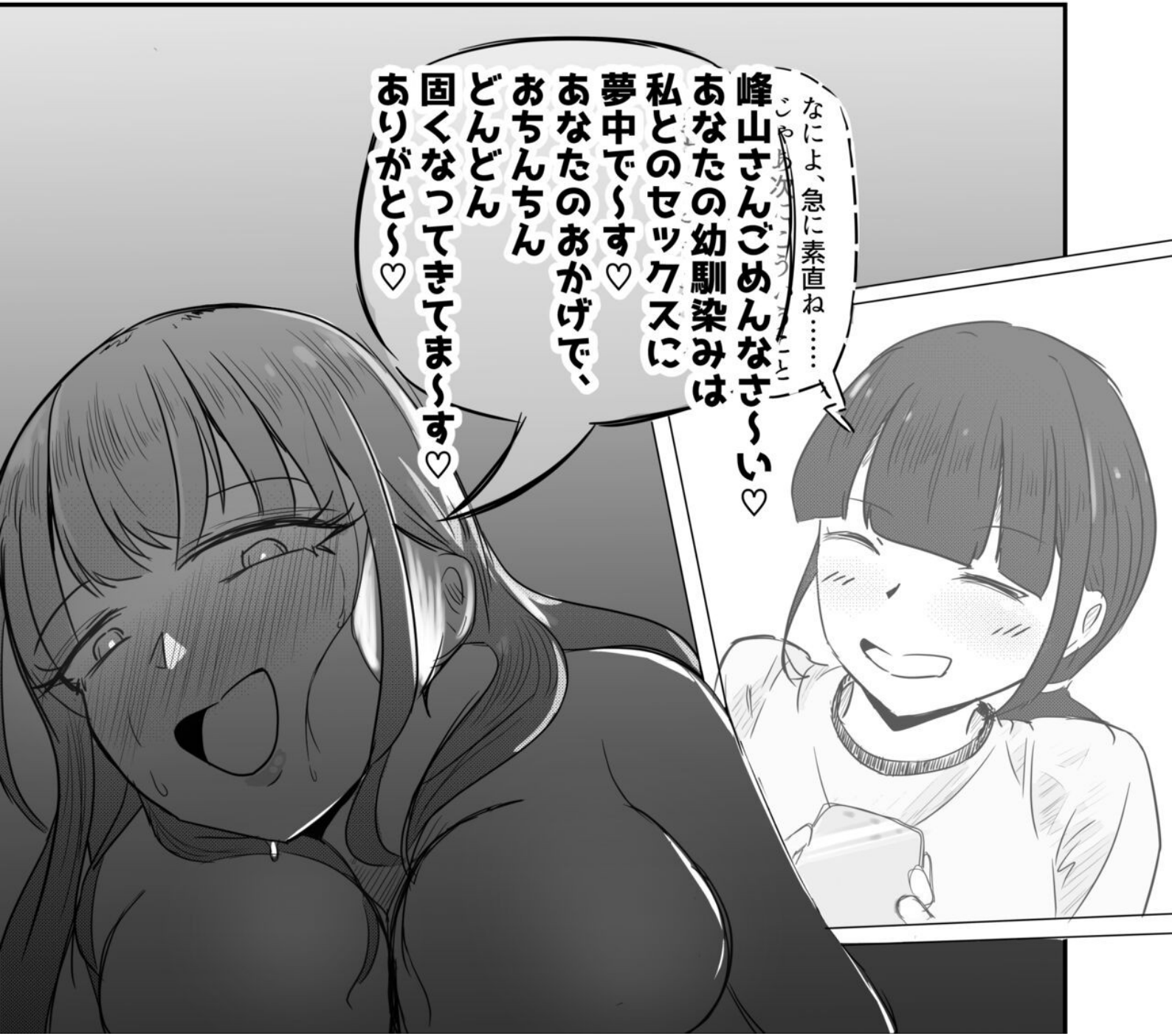
アッ

アッ



え〜？
切っちゃうの？
それじゃ峰山さん
かわいそ〜だよ♡
せっかく
誘ってくれたん
だから、ちゃんと
お礼言お？

……誘ってくれて
ありがとな



なによ、急に素直ね……
峰山さんごめんなさ〜い♡
あなたの幼馴染みは
私とのセックスに
夢中で〜す♡
あなたのおかげで、
おちんちん
どんどん
固くなってきてま〜す♡
ありがと〜♡



なに考えてるんだよ電話中になんて……!!

だって……
勃起したまま
だったから、
挿れて欲しい
のかな……って♡

ハア……
ハア……



……っ
だからって、
バレるか……!!



クッ♡

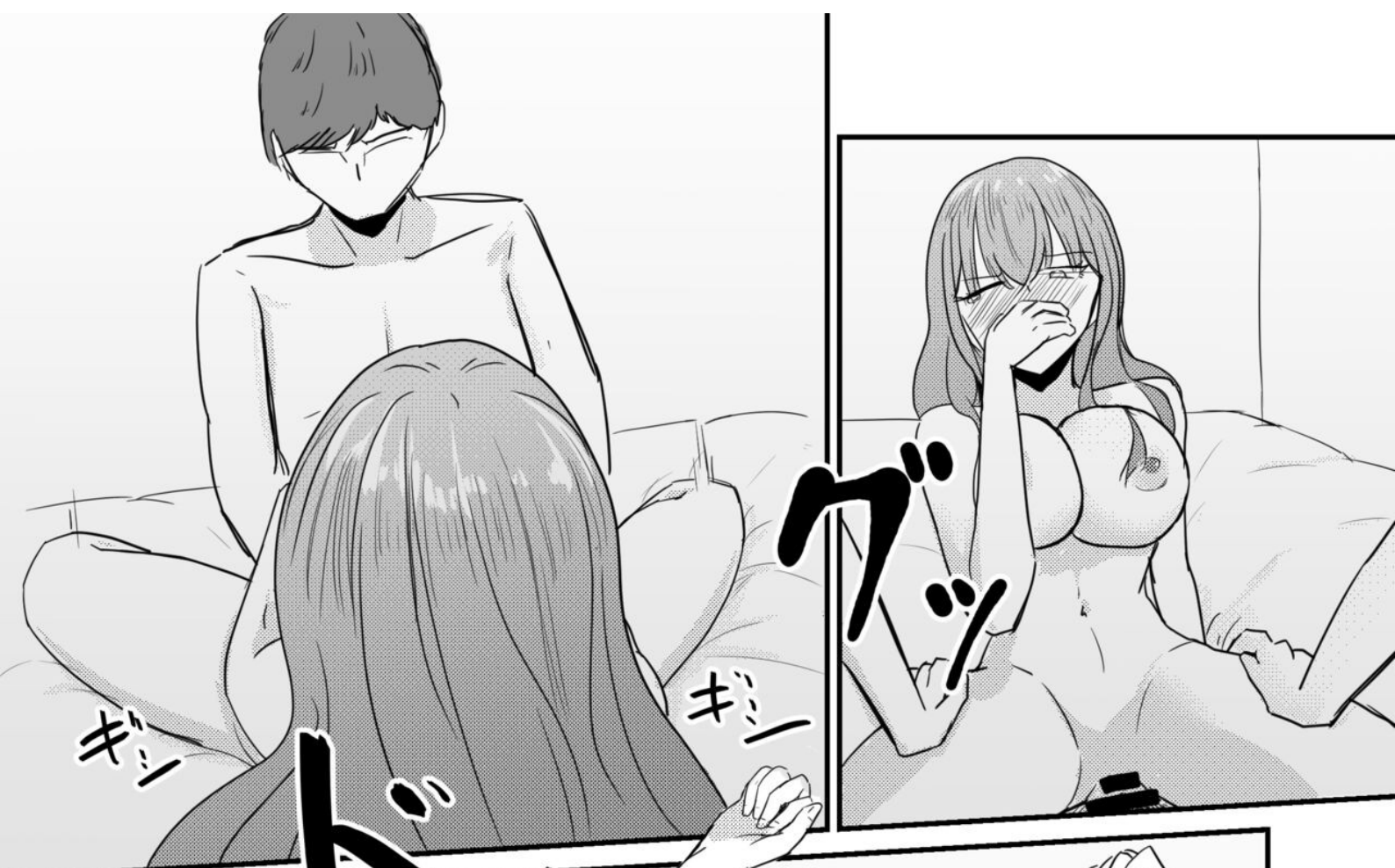
クッ♡



どうしてっ
そうなるんだ!!



俺は七星さんが…
七星さんだけが
好きだ!



私、キミが
理想に思うような
綺麗な人間じゃないよ？

ワガママだって
沢山言うよ？

それでもいいなら、

私の名前を呼んで……

好きだ、香織……
俺と、付き合っ
てください……！！

……うん♡

お願い、陽一君♡
気持ちよくして……♡

ああ。いくよ、
香織……！！

あ、
ごっさごっさ……

これは
『操り人形』である
キミの無意識に
話しかけてるから

そのまま
聞き流して欲しいん
だけど……



キミはこれから
私に『好き』って
言われると、

どうしようもなく
気持ちよくなる…

脳がありったけの
快樂物質ひねり出して、
幸福と気持ちよさで
バカになっちゃうの♡

だって、キミはもう
私の彼氏だから♡

彼女に『好き』って
言われたら、
嬉しいのは
当たり前だもん♡

本望、でしょ？
だってキミは
気持ちよさに負けて
来たんだから……
もっともって、
気持ちよくなりたいよね♡

グ
ルニ
グ
ルニ



陽一君、
……好きだよ







……あ、
氣い失ってる
暗示
効き過ぎた……



気持ち、
よかったね……

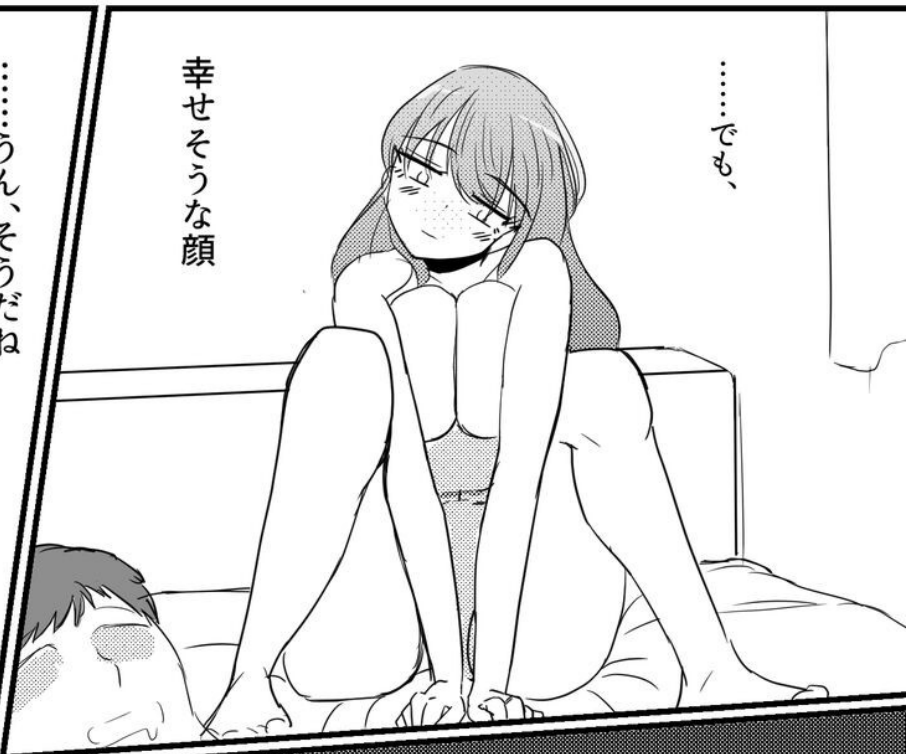


……あれ？
陽一君？

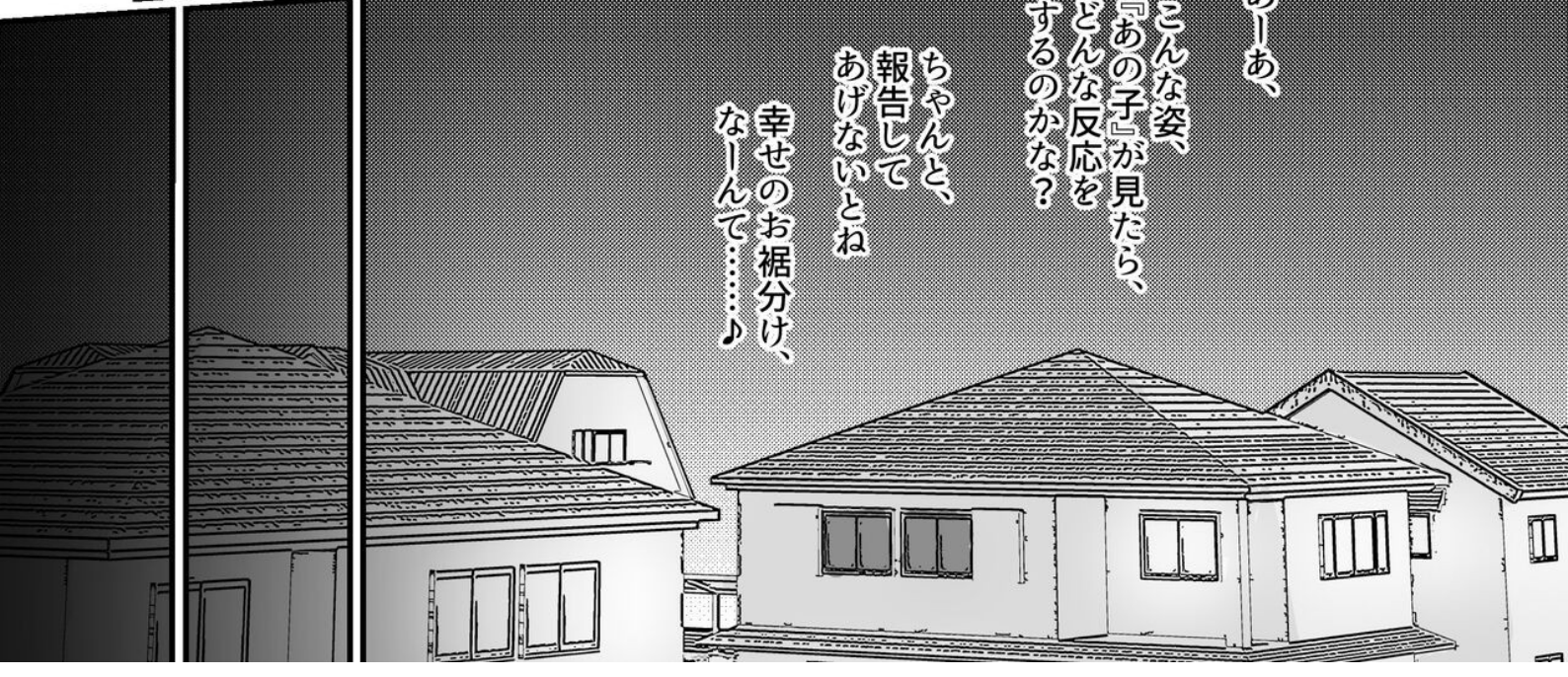


……うん、そうだね
キミはこのまま
幸せになりなよ
それがいいよ

だって、キミの幸せ
こそがきつと、
誰かにとつての不幸
なんだから……



……でも、
幸せそうな顔



あーあ、
こんな姿、
『あの子』が見たら、
どんな反応を
するのかな？

ちゃんと、
報告して
あげないとね
幸せのお裾分け、
なーんて……♪

大切な幼馴染みを裏切って

悪〜い
女の子に
恋して
しまう話



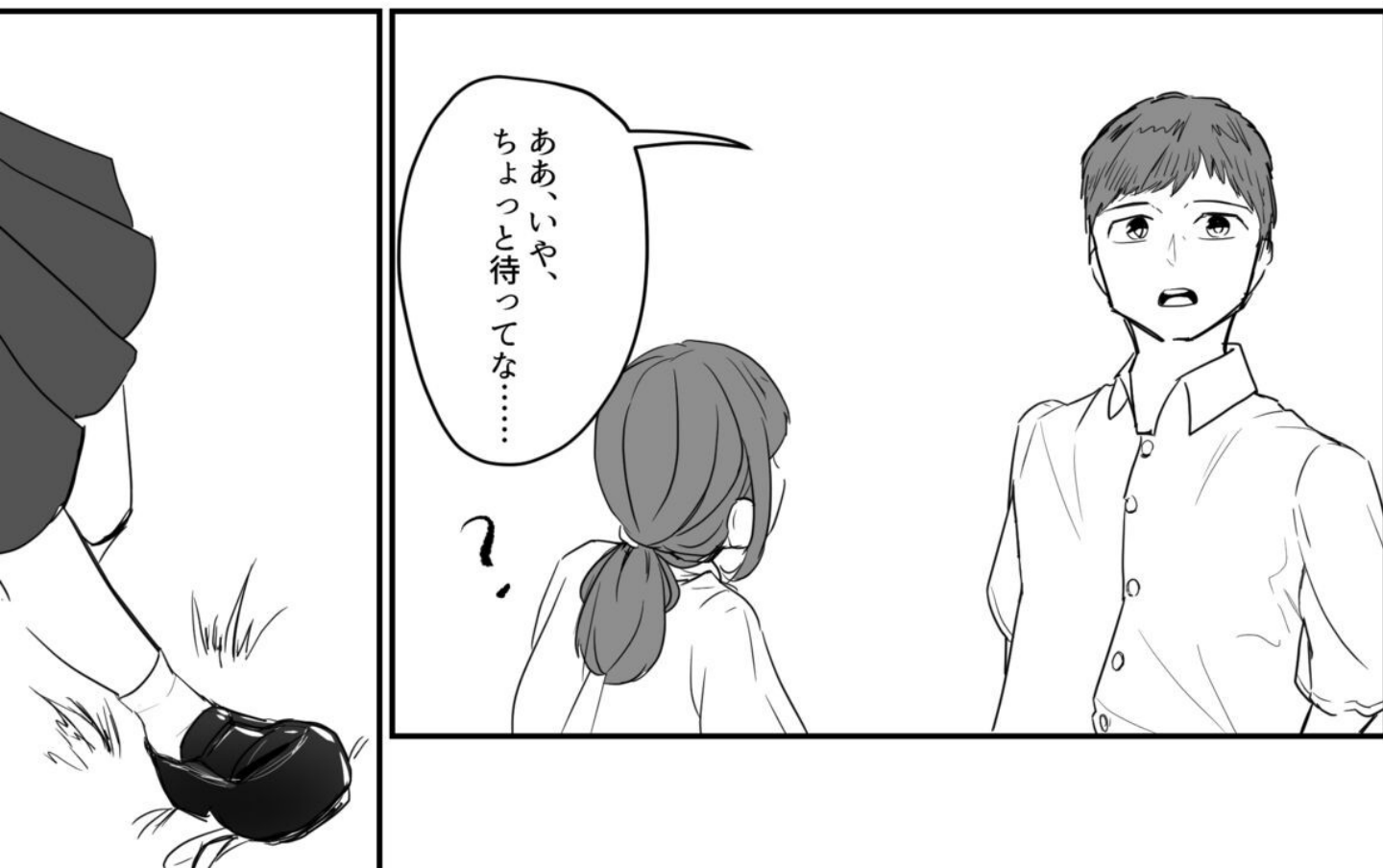
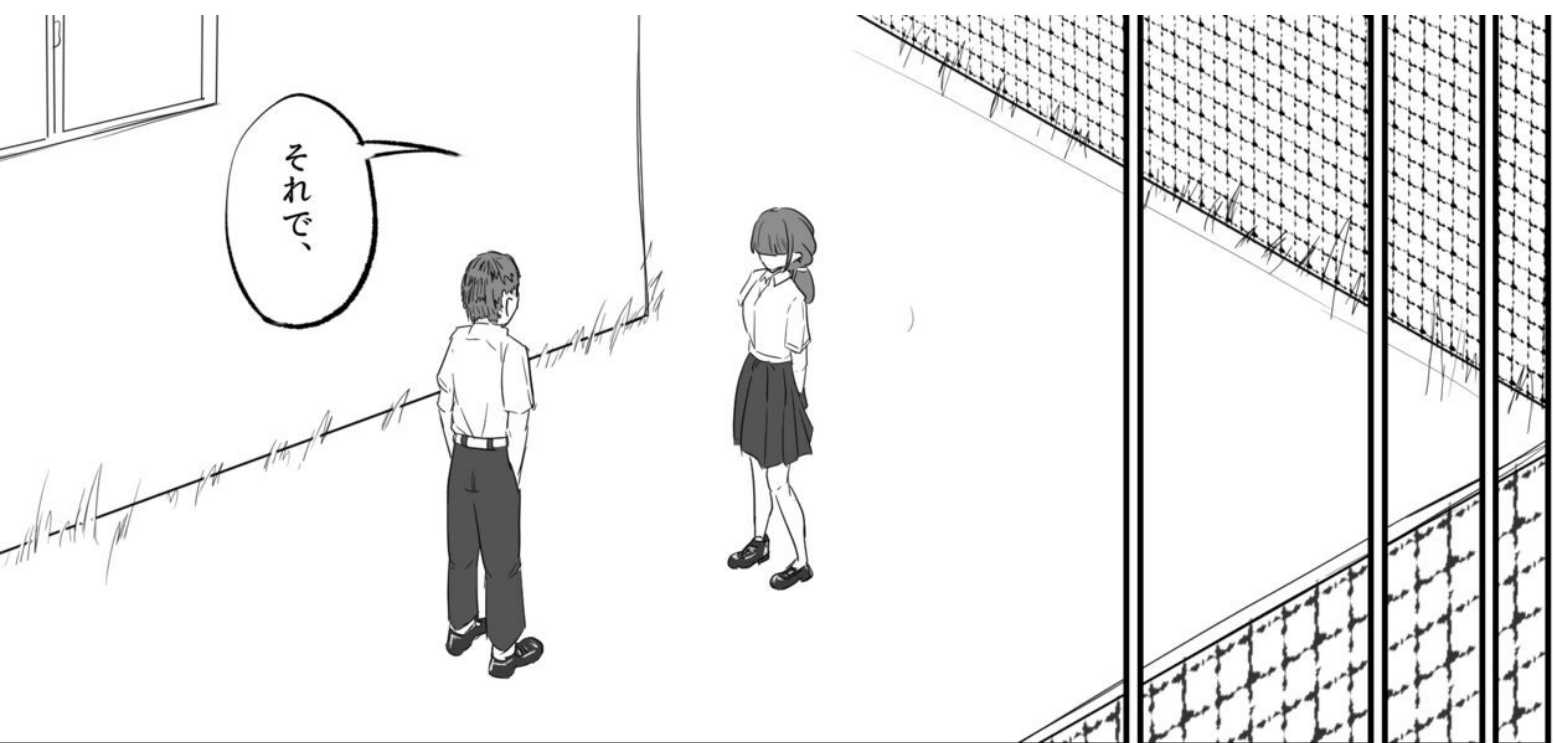


大事な話があるんだが、
明日、8時に校舎裏まで来てくれないか？

いいけど……ここで言えないこと？

できれば直接伝えたい

わかった





香織と
付き合うことに
したから……

お前にはそれを
伝えておきたくて……



………香織って、
ああ、七星さんの
下の名前か……

それで、
……え？



付き合う……

付き合うって
言った？

この2人が？

なんで？

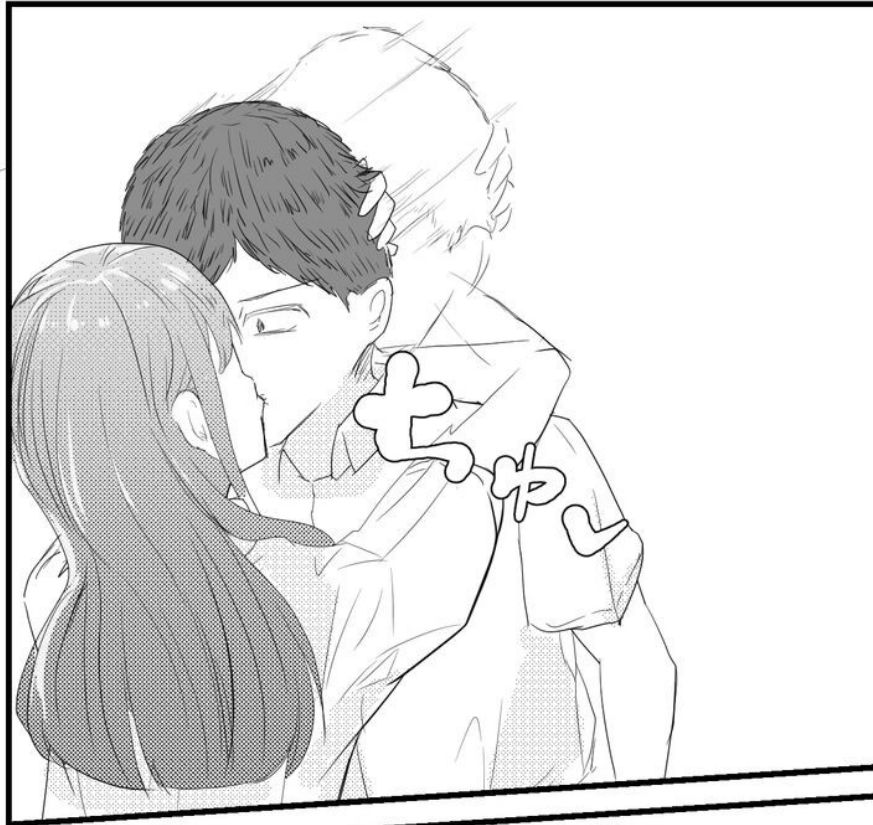
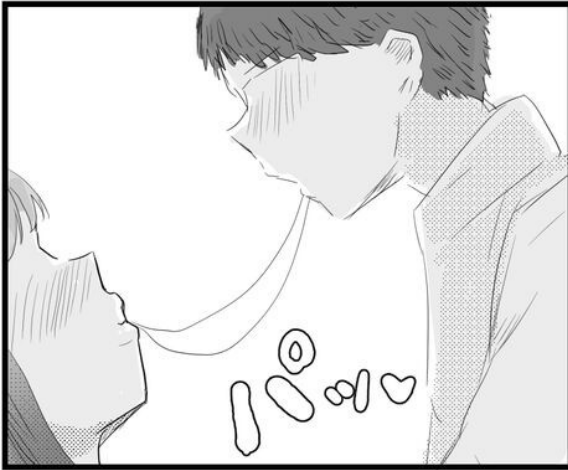
いつの間に？

だって陽一は
私と七星さんの
仲だって知ってる
はずなのに……

あれ？
分からないかな？

付き合うって
いうのはね、







ケンカみたいになるなら、もうやめてくれ

ト、



信じられない…
なんであんな
なんかが…



え〜♪
これでもまだ
信じられないの？



咲希、

別に祝ってくれ
って訳じゃない

ただ、幼馴染みの
お前には伝えるのが
礼儀だと思っただけ
だから…

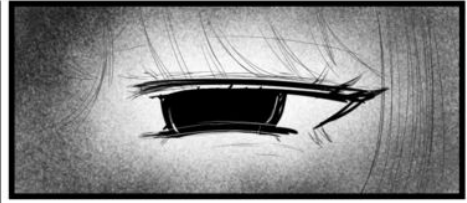
できればわかって
欲しかったけど、

香織のこと
悪く言うようなら
もういい

……話は
これで終わりだ



え？



……わかって
欲しいんでしょ？

だったら
わからせて
あげれば
いいじゃん





あ~~~~♡
こんな状況なのに♡
ガツチガチじゃん♡

幼馴染みに
見られて
興奮してる？

それとも幼馴染みも
目に入らないくらい
私に夢中なのかな？

ああ、きつと、
これは全て香織の
掌の上なんだろう

でも、俺を翻弄する
いらずら気な笑みに
見つめられると……



大切だったものや
大事にしたこと、
その全てが香織に
上塗りされていく
みたいだ……

え

え

え？

グググ
ヒヤッ

ヒヤッ
ヒヤッ





気持ちいい……!!
それに香織の中、
すごく濡れてる……
香織も、気持ちよくな
ってくれてるのかな……



もう、嫌……
コイツも、陽一も、
頭おかしいんじゃないの!?
最悪!
気持ち悪い……!!



あくあ♥
二人とも、あんなに
仲良かったのに♥

友情も、愛情も、
全部壊れて
台無しに
なっちゃった♥

ほんつと、最高……♥
あなたたち見ると、
私も、
どうしようもなく
昂ぶってきちゃう……♥

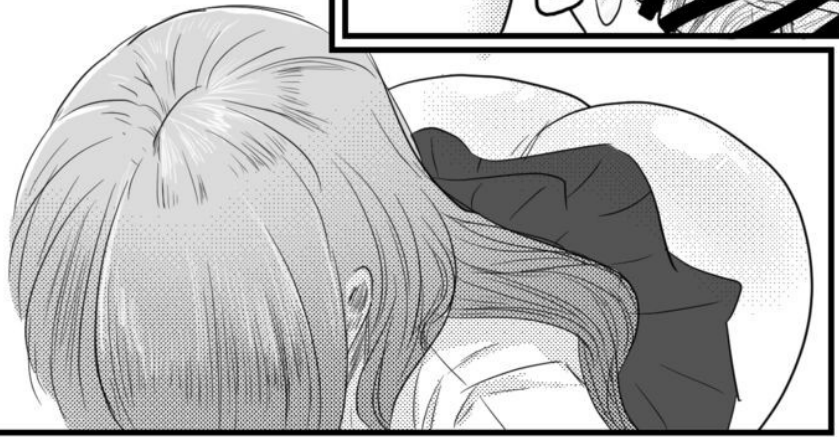
ヤバ、イク♥
イっちゃう……♥
ちようだい!
好き好き好き好き♥
私の中に、出して!!



ハア♥
ハア♥



ふう…
どうかな？
峰山さん



あつ、でも
安心してね♡
あなたと陽一君が
仲良くしてても
ヤキモチ妬いたり
しないから♡



これで認めて
くれたかな？
私たちが愛し合ってる
ってこと



だってあなたに
陽一君を寝取られる
心配なんて、
全く必要無いもの♡

だからどうぞ
遠慮せずに…



ストン



これからも、
『私の彼氏』を
よろしくね…♪



あとがき

ご購入、および最後までご覧頂きありがとうございます。

あくまで「フィクションの中で」、という前提ではありますが、大事なものを踏みにじる、踏みにじられるというのもとても刺激的です。本作のヒロイン、七星香織は、人の大切なものを踏みにじることに興奮を感じる、わるいおんなです。下手に優秀なため、標的にされた主人公たちには抗うこともできません。主人公に至っては踏みにじられた自覚すらありません。なんなら主人公は、怒りを買った張本人である咲希の幼馴染みだから、という理由で巻き込まれただけに過ぎません！(好き好き言ってますがもちろん恋愛感情などあるはずもなく)

わるいおんなです。
……もっとこういう女の子が描きたいですね。

さて、今回は初めてということもあり、ストーリーとしては比較的シンプルな筋書きになりました。次は、難しいかもしれませんが、ちょっと変わった設定のお話が描けたらいいなと思っています。「彼女の偽物に逆NTRされる話」「明るい女の子が感情を奪われる話」「催眠アプリを女の子に使わせる話」「ハッピーエンドの貢ぎモノ」「サキュバスに愛情をドレインされる逆NTR」など……興味があればフォローなどお願いします。それでは、また。

奥付

タイトル 大切な幼馴染みを裏切って悪い女の子に恋してしまう話【催眠逆NTR】

発行日 2023年10月12日

著者 海山屋 (X名義『(°…°)』@euoxzcvii)

連絡先 umiyama1027@gmail.com

